松戸市緑推進委員会

第７期委員会の活動報告および提言

平成２６年５月

松戸市緑推進委員会

平成２６年5月２９日

松戸市長　本郷谷　健次　様

第７期松戸市緑推進委員会
会 長　　田 代　　順 孝

第７期委員会の活動報告と提言

第７期松戸市緑推進委員会は、平成２４年７月１日付けで委嘱を受け、「松戸市緑の基本計画」に掲げた、緑の保全及び緑化の推進等に係る重要課題の解決や緑の現状を踏まえた今後の対応のあり方について、慎重かつ精力的に検討を重ねて参りました。

このたび、みどりの松戸づくりに向けて別紙のとおり委員会の総意として、「第７期委員会の活動報告と提言」を作成しました。その中で、早急に重点的に取り組むべき課題として下記の３項目を掲げ、取りまとめましたので、ここに掲出します。

記

１　再整備後の公園や、２１世紀の森と広場において、松戸方式のマネジメントシステムの具体の検討を始める。

２　複数の緑推進プロジェクトの展開を支えるプラットフォームとして、(仮称)緑の夢創造センター準備会の設置を検討する。

３　(仮称) 松戸市緑の大賞等、顕彰制度を創設する。

以上

松戸市緑推進委員会「第７期委員会の活動報告および提言」

目　次

1. 第７期委員会の方針 1

2. 第７期委員会活動の成果 2

2.1 緑推進委員会の活動 2

2.1.1　公園再整備ワークショップ部会 2

2.1.2　21 世紀の森と広場部会 4

2.1.2.1　21 世紀の森と広場ドコでもシアターワーキンググループ 4

2.1.3　企業との連携について 7

2.1.4　オープンフォレストｉｎ松戸の推進・支援 8

2.1.5　緑と花のフェスティバルへの参加 9

2.2 その他の関連する活動 10

2.2.1　みどりの行動会議 10

2.2.2　里やまボランティア入門講座 11

2.2.3　松戸花壇づくりネットワークの活動 11

3. 第８期委員会へ引き継ぐ課題 13

3.1　公園再整備ワークショップ部会の設置 13

3.2　“夢実現事務局（仮）”検討部会の設置 13

3.3　樹林地保全方策部会の設置 13

3.4　緑の人材活用手法の検討 13

4. 提言 14

4.1　はじめに 14

4.2　行政施策について 14

4.3　市民力を高めるプロジェクトについて 14

4.4　重点施策の提言 15

5. 参考資料 16

１．　第７期委員会の活動の方針

第６期委員会（任期：平成 22 年７月から平成 24 年６月末）では２年間にわたり市長から諮問事項について調査と審議を行い、平成 24 年６月 21 日、その結果を市長へ答申した。

このため、第７期委員会の任期２年間の最後に市長へ手わたす「活動報告と提言」は、それ以前より継続してきた第５期委員会（任期：平成 20 年７月から平成 22 年６月末）までの活動を引き継いだものとなる。

これを踏まえ、第７期委員会では第６期委員会での諮問事項と答申（街区公園の再整備、21 世紀の森と広場の魅力アッププランづくり）と第５期委員会における提言に基づき、大きく以下の３つの項目について審議を行なうこととし、専門部会の設置をともなう委員会活動を展開した。

①公園再整備（前期委員会諮問事項）について
②21 世紀の森と広場の諮問に対する答申の今後について
③企業との連携について

2．　第７期委員会の活動の成果

2.1　緑推進委員会の活動

平成 24 年 7 月から平成 26 年 6 月までの 2 年間の任期中、9 回の委員会を開催した。今回の委員会では、公園再整備ワークショップ部会を設置し、松戸市公園再整備ガイドラインのワークショップについて検討した。また、21 世紀の森と広場部会をおこない、ワーキンググループを設置し、「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」について検討した。また、本委員会内にて企業との連携について検討した。

2.1.1　公園再整備ワークショップ部会

1）部会設置の経緯

松戸市は、以下の理由から 11 地域の核となる近隣公園クラスの公園を「地域公園」と定め、それらの公園の再整備に際しての基本的な考え方や検討の進め方、住民参加のあり方等を整理した「公園再整備ガイドライン」を策定した。

このガイドラインを運用するうえで留意するべき点について、以下に示した。

①市内の公園の多くが 30 年以上前に整備されたものであり、施設の老朽化が見られる。

②公園へのニーズが多様化している現在において、より多彩な機能を有する公園への転換が求められている。

③公園の管理・運営についても行政とともに、市民、市民団体、学校・大学、企業など、多彩な主体がこれにかかわり、都市公園の機能をより豊かにしていくことが、公園および地域の活性化を図るうえで望ましい。

また同ガイドラインでは、公園再整備プランの作成に住民の参加をうながすため、ワークショップを実施することが計画された。これを受け、ワークショップのより有効な手法、実施法等について検討するため、緑推進委員会に「公園再整備ワークショップ部会」を設置した。

2）公園再整備模擬ワークショップへの参加

公園再整備ワークショップの開催に先立ち、平成 25 年 1 月 16 日および 2 月 1 日の２回にわたり開催された「模擬ワークショップ」に参加。その後、公園再整備ワークショップの進め方、多様な公園利用者を想定した参加者の募り方や、非参加者に対する意見収集法、ワークショップ後の参加者のフォローアップの必要性とその方策などについて提案を行った。

3）金ヶ作公園再整備ワークショップへの参加とワークショップ後のフォローアップ

平成 25 年、金ヶ作公園再整備の実施計画策定にあたり、10 月 20 日より 4 回にわたり開催された「金ヶ作公園再整備ワークショップ」に参加。その後、継続して新生金ヶ作公園の管理・運営等に関与する意向を持つ参加者を募り、「金ヶ作公園会議(仮称)」を発足した。

平成 26 年 1 月以降、月に 1 度のペースで会議を開催し、金ヶ作公園再整備後の公園利用の活性化と市民参加による管理・運営の仕組みづくりについて検討を重ねている。

写真　ワークショップの様子

4）部会活動の成果と課題

行政が行うワークショップの場合、所定のプログラムを終了すると、その後に参加者との関わりが途絶え、結果として計画策定のための意見集約にとどまるケースが多い。今回は、ワークショップ後に本委員会の部会の働きかけにより、積極的に公園づくりに関わろうとする参加者を吸い上げられたことは、部会活動の成果として大きい。

「金ヶ作公園会議(仮称)」では、地域の活動団体など、人的資源との連携を図りながら、公園の運営・管理体制づくり、利用活性化の方策を継続して検討している。

また、今回のワークショップ参加者の募集においては、近隣の町会・自治会など地域団体への呼びかけが主体であったため、参加者の属性にかなり偏りがあり、ワークショップ開催の周知も十分とはいえなかった。

これについては、再整備対象の公園でワークショップが開催される以前から、公園ウォッチング、親子対象の公園観察会などのイベントや、公園利用者へのヒアリング調査などを通じた参加の呼びかけなど、より多様な公園利用者の参加が図られる方策を講じることを、今後の課題として提起する。

2.1.2　21 世紀の森と広場部会

平成 25 年 1 月 16 日に実施した 21 世紀の森と広場部会にて、「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」についてワーキンググループ設置の上で議論・実施していくことが決定した。

2.1.2.1　21 世紀の森と広場ドコでもシアターワーキンググループ

1）　21 世紀の森と広場ドコでもシアターとは

「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」は、市の課題である「21 世紀の森と広場の魅力を高めるための公園機能の見直し」に対する新たな取組みの一環として、21 世紀の森と広場内の様々な場所をそのままシアターと見立て、音楽会等のパフォーマンスを公園の魅力と合わせて伝えるイベントであり、平成 24 年 10 月から「studio-MoC」（主に東葛地域でまちづくりに関わる活動を行う任意団体）と「松戸市」が共催で実施している。

2）ワーキンググループの成り立ち

本委員会内の「21 世紀の森と広場部会」では、第 6 期委員会の「21 世紀の森と広場の魅力アップのための答申」について、第 7 期委員会でも答申がどのように具現化されていくのかを引き続き見守り、関わっていこうとの判断から、「21 世紀の森と広場 ドコでもシアター」をケーススタディとし、本事業への助言、提言を行いながら、新たな事業展開へのフィードバックすることを目的にワーキンググループを立ち上げた。

3）21 世紀の森と広場ドコでもシアターの実績と評価

「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」は、これまで 5 回の開催で合わせて 2 千人を超える来演者数を数え、大変好評を得ている。外部からも、「一般財団法人 公園財団」が実施している「公園夢プラン大賞 2013･実現させた夢部門」において入選を果たし、専門的且つ客観的な評価を得ている。

また、全 11 回に及ぶワーキングでは、「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」の開催毎に、アンケート結果や主催者分析に基づく、「魅力･効果･良かった点」や「課題･改善点」を洗い出し、最後には「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」の発展と、こうした催しも含めた公園活性化につながる新たな事業展開に向けての 1 つの提案ができるまでに至った。

先ず、「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」の「魅力･効果･良かった点」については、以下の点が挙げられた。

① 企画の意図（音楽等のパフォーマンスの鑑賞をきっかけとした、公園が持つ魅

力の再伝達）が正しく来園者に伝わっていること。

② 公園利用の潜在的なニーズ（屋外で音楽が聴けることの楽しさ）を掘り起こすことができたこと。

③ 本事業の趣旨に、パフォーマー（出演者）からも共感（理解と喜び）が得られていること。

④ 「食」の販売等、＋アルファのサービスの広がりに期待が持てること。

写真　ドコでもシアターの様子

次に、「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」の「課題･改善点」については、実証された「魅力･効果･良かった点」をどう発展･継続させるのかを観点に、大きく以下の点が挙げられた。

① 積極的な広報活動の展開

（現状では「広報まつど」をはじめとした行政が所管する媒体が中心となっている。）

② パフォーマンスのクオリティー維持や会場設営のための費用の捻出

（現状では行政側で負担している「出演謝礼金」だけでは出演者の持ち出しが生じており、会場の演出にももっと趣向を凝らしたい。）

③ スタッフの不足

（「studio-MoC」と「松戸市」で役割分担をしながら実施しているが、「studio-MoC」はボランティアによる運営であり、「松戸市」は初動の重点業務から今後は実務の軽減が迫られることも想定され、将来的な実施体制に不安がある。）

4）ワーキングによる「新たな事業展開」に向けての提案

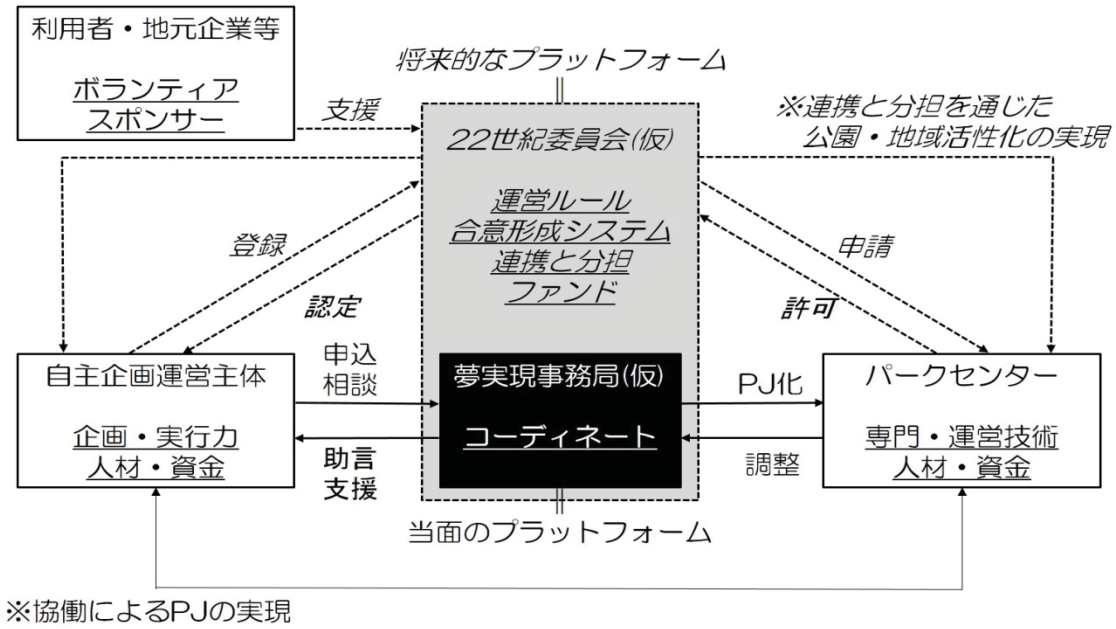
ワーキンググループでは、ここで挙げられた「魅力･効果･良かった点」や「課題･改善点」を踏まえ、特に「運営ルールの明確化」、「資金の調達」、「協働から発展的アウトソーシングへの移行」を重要課題として、これらを解決し持続的な実施を担保できるシステムづくりを目指すことが必要であるという結論に至り、「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」に限らず、今後行われる様々な持ち込み型の催し等において求められる機能･組織のあり方として、以下の提案を行った。

● プラットフォームの構築

当面のプラットフォームとして、自主企画・運営を希望する主体が持ち込むプランを、公園管理者が求める一定のルール等にしたがってコーディネートし、具体的な事業として構築することのできる機能・組織（事務局）が求められる。

また、将来的には、21 世紀の森と広場の運営に係わるルールづくり、合意形成の促進、関係主体の役割分担と連携、資金調達とファンドの造成等を担う機能・組織（公園運営協議会）が求められる。

このようなプラットフォームとしての機能・組織の構築に関しては、アウトソーシングも含めて検討する必要がある。なお、下図にプラットフォームの役割、行政や自主企画・運営主体等との関係や求められる役割について例示した。



《図：プラットホームの構築に係わる提案》

図に示したようなプラットフォーム（事務局＋公園運営協議会）を構築することにより、「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」のような自主企画・運営による公園イベントの掘り起こしと実施が可能になり、単に公園利用の活性化のみならず、地域づくりへと展開していくことが期待される。

また、ここで提案したような新たな展開を促進するためには、継続した検討が必要である。よって現在の「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」ワーキンググループを発展的に改組し、プラットフォーム構築を主テーマに検討するグループを、緑推進委員会との連携に基づいて設置（部会・WG 等）することを求めることで、ワーキンググループの活動報告の終わりとする。

2.1.3　企業との連携について

平成 24 年 7 月 27 日開催の第 1 回緑推進委員会にて、企業との連携を検討課題とすることとなった。以後の委員会での審議において、議論がかわされた。

1）議論の枠組み

「みどりの市民力」のアップやプロジェクトを展開するうえで、ファンドレイジング（Fundraising：資金調達）は重要な課題である。近年、企業による社会的貢献としての CSR（Corporate Social Responsibility）や社会的責任投資としての SRI（Socially Responsible Investment）の考え方が浸透し、企業意識の変化が起きつつある。

平成 16 年 10 月 1 日制定された「松戸みどりの市民憲章」でも「行政・市民・企業の 3 者が一体となって」とあるが、これまで市内での緑の活動において企業との関わりがあまり見えてこなかった。このため、第 7 期委員会において公園再整備や 21 世紀の森と広場などへの応用も含め議論をおこなった。

2）審議内容

これまでも地元の篤志家や企業からの寄付による街路樹を補植や、地域企業の方々には（公財）松戸みどりと花の基金の法人・団体会員に加盟していただいている。

しかし残念ながら、大企業による緑化活動やボランティア活動への助成事業はケースが多いが、地元企業が社会貢献として緑に関わる機会は比較的少ない。

これは、地元企業からの資金提供の形態は、投資、融資、寄付、会費などさまざまだが、企業は出資者（株主）への利益配当を使命とするため、当然リターンの確保が必要となることが要因として挙げられる。また、地元企業は企業規模が小さい場合が多く、1 社では多額の寄付や投資を担うことが難しい。

そこで、行政による「住民参加型ミニ市場公募地方債（ミニ公募債）」への投資や、NPO などによるコミュニティ・ボンド（コミュニティ単位での債権）や市民ファンドなどへの投資に見られるようにファイナンスクラブ的な枠組みによって参加の機会を充実させていく仕組みづくりが必要となる。

また、単なる企業イメージの向上だけでは不足で、地域経済における実効性も求められる。具体的には市民によるグリーン購入や SRI における市民によるスクリーニング（投資や商品購入時に選別）などが考えられ、緑づくりに貢献した企業を広く市民に PR・周知する機会の創出が重要と考える。

3)「松戸市緑の大賞」の創設

たとえば、ヨーロッパやアメリカでは、空いている土地を使い「花を植えて見ているだけ」ではなく、「栽培し収穫して楽しもう」といったアーバン（コミュニティ）ファーミング（都市農業）がブームとなっている。わが国においても、これまでの緑推進から「みどりを楽しむ」への変化がおきつつある。

これらのムーブメントの受け皿として、ライフサイクル（住生活）において緑を楽しむ地域経済の担い手としての地元企業の関与を今後とも推進していく必要がある。

そこで、まず手始めとして、緑について貢献した個人や事業者（企業）を顕彰し、市民へ周知することを前提とした、「松戸市緑の大賞」を創設することを提案する。実施主体は（公財）松戸みどりと花の基金と松戸市とする。

この大賞では、松戸みどりの市民憲章の理念に基づいた市民、企業、市民団体、学校・大学、みどりの所有者といった「みどりの市民力」の各主体をそれぞれ表彰対象としたい。

2.1.4　オープンフォレスト in 松戸の推進・支援

1）第 2 回オープンフォレスト in 松戸の推進・支援

普段入ることの出来ない民有樹林地（一部公園等含む）を、所有者の協力を得て公開する「オープンフォレスト in 松戸」の後援を平成 24 年度に引き続きおこなった。オープンフォレスト in 松戸実行委員会と松戸市の共催で、市民ボランティアが活動する樹林地が一般公開された。各団体の活動をより多くの市民に伝えること、身近な緑の大切さに目を向け、減少し続ける都市樹林の保全を市民と一緒に考える機会となることを願って準備されたイベントは、「みどりの市民力」の成果のひとつと言える。

平成 25 年 5 月 18 日～5 月 26 日の期間中、森の公開、森の文化祭の各イベントあわせ、スタッフを含め約 2,100 人の来場があった。

写真　オープンフォレスト森の文化祭と森の公開の様子

2）第 3 回オープンフォレスト in 松戸の推進・支援

平成 26 年 5 月 17 日から 25 日までの 9 日間の日程で、オープンフォレスト in 松戸実行委員会と松戸市の共催による第 3 回オープンフォレスト in 松戸が企画された。

これを受け、内容に関する説明を委員会で伺いイベントを後援した。

期間中、森の公開、森の文化祭の各イベントあわせ、スタッフを含め第 2 回を大きく上回り 3,200 人の来場があり盛況のうちに終了した。

なお、今回公開された樹林地の中で、所有者の一人がお亡くなりになったことにより相続問題が生じた箇所があった。森の公開は相続人の了解により行うことができたが、対象の樹林地は相続税にあてるため処分される可能性が高い。

従前から都市域における市街地の緑地保全の課題として、相続による樹林地の喪失が挙げられているが、未だ解決策は見出せていないのが実情である。

本委員会としても、「オープンフォレスト in 松戸」といった新たな樹林地活用の可能性を見出す活動への支援とあわせ、ボランティア活動の行われている森に限定せず「樹林地を守り育てていくための方策」について検討していくべきであり、樹林地の保全に関して調査・審議するための部会を今後設置することを提案する。

2.1.5　緑と花のフェスティバルへの参加

平成 25 年 4 月 29 日、および平成 26 年 4 月 29 日に開催された緑と花のフェスティバルに参加し、松戸市のみどりの現況や保全の取り組み等をパネル展示などで紹介した。また緑と花のフェスティバルのステージにて、平成 16 年 10 月に制定された「松戸みどりの市民憲章」の広報と普及を行った。

写真　緑推進委員会スタンプラリーとステージ発表の様子

2.2　その他の関連する活動

2.2.1　みどりの行動会議

1）これまでの経緯

みどりの行動会議は、松戸みどりの市民憲章の制定を機に、その普及・啓発と憲章の精神を反映した具体的な行動を推進するために設立された。過去には、「木に名札を付けよう」（2005～2006 年度）、「みどりのマップを作成しよう」（2007～2008 年度）などを実施している。

2）今期の活動

主に、みどりの市民憲章「子どもたちの夢とあそびを受けとめるみどりをいっぱいにします。」をテーマに活動した。

①平成 25 年 7 月に「七夕プロジェクト」として、里やまボランティアと協力し、七夕用の竹を希望する放課後児童クラブへ配布し好評を得た。

②平成 25 年 10 月に野菊野子ども館が開催する「子どもの国プロジェクト」に参加し、子どもたちに竹細工をしてもらい、好評を得た。

③平成 21 年度より実施している「みどりを訪ねて歩いてみよう～松戸のみどり再発見～」の後援を行った。これまでに、27 回のツアーを実施し、1,200 人近くの方に参加いただいている。

写真　子どもの国プロジェクトと七夕プロジェクトの様子

3）今後の展望

引き続き、「子どもたちの夢とあそびを受けとめるみどりをいっぱいにします。」をテーマに活動するための研究、企画に取り組む。

①「（仮）森のめぐみで遊ぼう」の実施。
（野菊野子ども館との共催で実施を予定。野菊野団地から子ども達を連れて歩いて秋山の森に移動し、森遊びをする、というツアーを企画している。）

②「森の幼稚園」「野遊び道場」等の他市の取組みの研究、勉強会の実施等。

2.2.2　里やまボランティア入門講座

第 2 期委員会樹林地部会の発案により、平成 14 年に第 1 回を開講して以来、平成 25 年で 11 回目となる。毎年講座の修了生の多くが、樹林地でのボランティア活動に参加している。

松戸市における活動の特色には以下のようなものが挙げられる。

①講座プログラムがオリジナルであり、市民、行政、中間組織の 3 者協働で開講されている

②講座修了生が、自主的に団体を組織して活動に入っている

③修了者による団体が「松戸里やま応援団」としてネットワークを結成し、互助のコミュニティを結成している

④人員のスキルアップ（管理・安全・生態・制度など）を図るための「ステップアップ講座」が里やま応援団を主体として開講されている

⑤活動場所が公有地ではなく、民有の樹林地である（一部公園を含む）

⑥講座修了生が、新たな緑の担い手育成の主体として携わっている

写真　里やまボランティア入門講座の様子

2.2.3　松戸花壇づくりネットワークの活動

松戸花壇づくりネットワークは、第 2 期委員会の「パートナーシップによる緑の育成管理方策検討部会」の活動をきっかけとして、平成 17 年に発足した。花壇作り団体の情報交換や人的交流の拡大を図ることを目的としているが、緑と花のフェスティバルなどの参加を通して、本委員会と密接な協力関係を築いている。

平成 19 年から 22 年まで東松戸ゆいの花公園において活動し、平成 22 年には、ちば国体にむけた「おもてなしの花」育成活動を行った。平成 23 年からは、金ヶ作育苗圃を拠点に種からの花苗づくりに取組んでいる。また、平成 25 年には、市制 70 周年記念事業の一環として庁舎前花壇に花苗の植付けを行った。

写真　花壇づくりネットワークの皆さん

３．　第８期委員会へ引き継ぐ課題

3.1　公園再整備ワークショップ部会の設置

第７期委員会では、同部会の活動により、金ヶ作公園再整備ワークショップ後に、参加者による会議が発足し、活動を継続している。次期委員会においてもこれに歩調を合わせ、今後の公園再整備における市民参加のあり方と、その仕組みづくりを実験的に進める部会を設置する。

3.2　“夢実現事務局（仮)”検討部会の設置

現在の「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」ワーキンググループを発展的に改組し、プラットフォーム構築を主テーマに検討するグループを、緑推進委員会との連携に基づいて設置（部会・WG 等）する。

3.3　樹林地保全方策部会の設置

ボランティア活動の行われている森に限定せず「樹林地を守り育てていくための方策」について検討していくべきであり、樹林地の保全に関して調査・審議するための部会を設置する。

3.4　緑の人材活用手法の検討

専門的領域に関わる問題として、緑地に生息する感染症害虫（マダニなど）への対応や、ユーザー（利用者）の視点で公園などの緑をより市民が利用しやすくする手法、松戸市の歴史や文化を子どもたちに継承する手法、また緑を楽しむ活動をおこなうための講習会や技術指導等、これら技能や知識を有する人を活用する手法を継続して検討する。

４．提言

4.1　はじめに

活気のある住みよい都市松戸の創造において、豊かで生き生きした緑は不可欠な自然の恵みであり、共有の財産である。本委員会は緑の恩恵を最大限に活用するための方策について様々な角度から検討し、市の緑行政の推進に対して協力してきたところである。「みどりの市民力」を高めつつ、先進的な行政が展開されるよう協働体制の構築に努めてきたところである。

今般、第 7 期の委員会活動を振り返り、下記のような提言事項をとりまとめたので、内容を十分ご検討のうえ、行政に反映されることを強く望むものである。

4.2　行政施策について

①様々な場面で効率化が求められ、予算や人員が削減される状況の中で、緑行政の推進における諸施策、事業について、可能な限り執行体制の見直しを図り、執行効率を高め、職員の能力を最大限活用すること。

②そのために、緑の専門職員の能力を最大限引き出せるよう、配置や育成プログラムを措置すること。

③市民協働を積極的に進めることの一環として、様々な表彰制度を活用または創設すること。

4.3　市民力を高めるプロジェクトについて

①公園再整備ワークショップ部会、ドコでもシアターワーキンググループ等で試行してきた諸活動を、市民と行政によってプロジェクト化し、その適切な運営方式を確立すること。

②緑推進プロジェクトの実施においては、行政、市民双方の負荷の軽減を図るため、可能な限りアウトソーシング方式を採用し、必要な人材、資金、物資、情報等の効率的な活用を図ること。

③緑推進プロジェクトの実施主体が、横断的な交流をより深め、運営ノウハウの共有や蓄積、活用できるように努めること。

④地元企業や個人からの寄付などによる活動資金の調達を積極的に進めること。

⑤緑推進プロジェクトの効果的な展開を図るための、企画調整、資金調達、情報の収集及び発信等のプラットフォーム機能を持つ、新たな組織の創設を目指すこと。

4.4　重点施策の提言

上記のことがらを実現するために、以下の 3 項目を重点施策として提言する。

① 再整備後の公園や、２１世紀の森と広場において、松戸方式のマネジメントシステムの具体の検討を始める。
② 複数の緑推進プロジェクトの展開を支えるプラットフォームとして、(仮称)緑の夢創造センター準備会の設置を検討する。
③（仮称）松戸市緑の大賞等、顕彰制度を創設する。

以上、ここに提言する。

５．　参考資料

資料１　第７期松戸市緑推進委員会委員名簿

資料２　第７期委員会の開催概要表

資料３　第７期松戸市緑推進委員会の開催実績

第７期松戸市緑推進委員会「諮問検討・答申書作成小委員会」委員名簿

第７期松戸市緑推進委員会「諮問検討・答申書作成小委員会」開催実績

資料４　みどりの行動会議の委員名簿

資料５　みどりの行動会議　開催概要

資料６　松戸のみどり再発見ツアー開催一覧

資料７　第２回オープンフォレストｉｎ松戸

資料８　公園再整備ワークショップ部会活動記録

資料９　里やまボランティア入門講座チラシ

資料 10　松戸花壇づくりネットワーク活動報告

資料 11　21 世紀の森と広場ドコでもシアターワーキンググループ

資料1

第7期松戸市緑推進委員会委員名簿

〈役職〉	〈氏名〉	〈所属等〉
会長	田代　順孝	千葉大学名誉教授
会長代理	柳井　重人	千葉大学大学院園芸学研究科准教授
委員	平岡　考	(財)山階鳥類研究所事務局広報主任兼自然誌研究室専門員
委員	岡田　啓峙	松戸市立博物館友の会　会長
委員	高橋　清	河南環境美化の会会長
委員	高橋　盛男	緑のネットワーク・まつど副代表
委員	真嶋　好博	千葉県樹木医会
委員	湯浅　吉章	松戸市市民農園連絡協議会前会長
委員	吉野　寅二郎	松戸ふるさと森の会前会長
委員	川上　和子	市民
委員	岩本　龍彦	市民
委員	上野　義介	市民
委員	髙橋　　節	市民
委員	横山　　元	市民

資料２

第７期委員会の開催概要表

第７期松戸市緑推進委員会の開催概要

〈　委員名称　〉	〈　開催日　〉	〈　議 題　〉
委　嘱　式	平成 24 年 7 月 27 日	
第１回委員会	平成 24 年 7 月 27 日	これまでの委員会の主な活動について、新委員勉強会について、第７期松戸市緑推進委員会での検討すべき項目について
第２回委員会	平成 24 年 10 月 11 日	前回委員会の議事要録の確認、第 7 期新委員の勉強会の報告について、前回委員会からの要望事項に対する報告について、第７期松戸市緑推進委員会での検討すべき項目について
第３回委員会	平成 25 年 2 月 12 日	第７期松戸市緑推進委員会での検討すべき課題について、みどりの行動会議からの報告、緑と花のフェスティバル２０１３への参加、「オープンフォレスト in 松戸」からの報告
第４回委員会	平成 25 年 6 月 3 日	第７期松戸市緑推進委員会での検討すべき課題について、みどりの行動会議について、緑と花のフェスティバル 2013 について、「第２回オープンフォレスト in 松戸」からの報告
第５回委員会	平成 25 年 11 月 25 日	第７期松戸市緑推進委員会での検討すべき課題について、みどりの行動会議について、第７期松戸市緑推進委員会の活動報告と提言について
第６回委員会	平成 26 年 2 月 12 日	第7期松戸市緑推進委員会での検討すべき課題について、みどりの行動会議について、「オープンフォレスト in 松戸」について、第 7 期松戸市緑推進委員会の活動報告と提言について
第７回委員会	平成 26 年 4 月 18 日	緑と花のフェスティバル 2014 について、「第 3 回オープンフォレスト in 松戸」について、第 7 期松戸市緑推進委員会の活動報告と提言について
第８回委員会	平成 26 年 5 月 26 日	緑と花のフェスティバル 2014 について、「第 3 回オープンフォレスト in 松戸」について、第 7 期松戸市緑推進委員会の活動報告と提言について
第９回委員会	平成 26 年 5 月 29 日	第 7 期松戸市緑推進委員会の活動報告と提言について

資料3

第7期松戸市緑推進委員会の開催実績

〈委員会名称〉	〈開催日〉
委嘱式	平成24年7月27日
第1回委員会	平成24年7月27日
第2回委員会	平成24年10月11日
第3回委員会	平成25年2月12日
第4回委員会	平成25年6月3日
第5回委員会	平成25年11月25日
第6回委員会	平成26年2月12日
第7回委員会	平成26年4月18日
第8回委員会	平成26年5月26日
第9回委員会	平成26年5月29日

第7期松戸市緑推進委員会「諮問検討・答申書作成小委員会」委員名簿

〈役職〉	〈氏名〉	〈所属等〉
座長	田代順孝	
委員	柳井重人	
委員	平岡考	
委員	高橋清	
委員	高橋盛男	
委員	川上和子	
委員	上野義介	

第7期松戸市緑推進委員会「諮問検討・答申書作成小委員会」の開催実績

〈委員会名称〉	〈開催日〉
諮問検討・答申書作成小委員会	平成26年3月27日

資料４

みどりの行動会議委員名簿

＜役　　職＞	＜氏　　名＞	＜所 属 等＞
座　　長	柳井　重人	緑推進委員
委　　員	田代　順孝	緑推進委員
委　　員	高橋　盛男	緑推進委員
委　　員	平岡　考	緑推進委員
委　　員	上野　義介	緑推進委員
委　　員	川上　和子	緑推進委員
委　　員	高橋　節	緑推進委員
委　　員	横山　元	緑推進委員
委　　員	山下　正徳	緑推進委員ＯＢ
委　　員	野坂　みよ	緑推進委員ＯＢ
委　　員	中島　敏夫	緑推進委員ＯＢ
委　　員	三嶋　秀恒	緑推進委員ＯＢ
委　　員	高木喜久雄	緑推進委員ＯＢ
委　　員	渋谷　孝子	緑推進委員ＯＧ 緑のネットワーク・まつど
委　　員	田中　玉枝	緑のネットワーク・まつど
委　　員	武笠　紀子	緑推進委員ＯＧ 緑のネットワーク・まつど
委　　員	野口　功	緑のネットワーク・まつど

資料５

みどりの行動会議　開催概要

＜役　　職＞	＜開催日＞	＜議題＞
第４５回	平成 24 年 10 月 29 日(月)	みどりの行動会議の今後の活動について
第４６回	平成 24 年 12 月 5 日（水）	子どもとその親世代がみどりに親しむ仕組みづくりについて
第４７回	平成 25 年 1 月 30 日（水）	常盤平児童福祉館での自然体験プログラムの需要と実現の可能性について等（担当者へヒアリング)、緑のフェスティバルでのオープンフォレスト in まつどの周知支援について
第４８回	平成 25 年 3 月 5 日（水）	子ども向けイベントの事例紹介、緑のフェスティバルでのオープンフォレスト in まつどの周知支援について
第４９回	平成 25 年 4 月 17 日（水）	放課後児童クラブでの自然体験プログラムの需要と実現の可能性について（担当者へヒアリング)、七夕プロジェクトの企画について
第５０回	平成 25 年 5 月 29 日（水）	七夕プロジェクトについて、緑と花のフェスティバルのふりかえり
第５１回	平成 25 年 7 月 24 日（水）	七夕プロジェクトについて、「子どもの国プロジェクト」について提案
第５２回	平成 25 年 9 月 12 日（水）	「こどもの国」イベント当日について、「こどもの国プロジェクト」今後の展開について等
第５３回	平成 25 年 10 月 25 日(金)	「こどもの国プロジェクト」実施報告、「森のめぐみで遊ぼう（仮)」について
第５４回	平成 25 年 12 月 2 日（月）	「森のめぐみで遊ぼう（仮)」散策コースの下見
第５５回	平成 26 年 3 月 20 日（木）	緑と花のフェスティバルについて
第５６回	平成 26 年 5 月 28 日（水）	緑と花のフェスティバルの反省会

松戸のみどり再発見ツアー開催一覧

資料６

回数	開催日	開催場所	スローガン	主催	参加者数
1	21.11.29（日）	千駄掘	知られざる千駄掘の魅力を発見する	みどりの行動会議・松戸市共催	51 名
2	22.02.14（日）	千駄掘	千駄掘＊森の自然観察＆クリーンアップ	みどりのネットワーク・まつど	34 名
3	22.04.06（火）	常盤平	昭和のガーデンシティと松戸の里山を訪ねる	みどりの行動会議	47 名
	22.04.13（火）	金ケ作		松戸市共催	31 名
4	22.04.29（木）	千駄掘	21世紀の森と広場おもしろ話	みどりの行動会議・松戸市共催	76 名
5	22.05.09（日）	高塚～秋山	高塚～秋山新緑の森を巡る	みどりのネットワーク・まつど	69 名
6	22.07.11（日）	八ヶ崎・幸谷	八ヶ崎から幸谷へ緑の回廊を歩く	みどりのネットワーク・まつど	58 名
7	22.09.26（日）	紙敷	かやぶき屋根の齋藤邸と紙敷さんぽ	みどりの行動会議・松戸市共催	37 名
8	22.11.05（金）	松戸	巨樹・古木めぐり	松戸市	30 名
9	22.11.28(日)	日暮・田中新田	八柱霊園の紅葉とゆいの花公園の緑を訪ねる	みどりのネットワーク・まつど	47 名
10	22.12. 5(日)	千駄掘	21世紀の森と広場おもしろ話パートⅡ	みどりの行動会議・松戸市	33 名
11	23. 2.13(日)	本土寺・大谷口	「歴史薫るみどり・本土寺周辺～大谷口歴史公園を歩く	緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市	59 名
12	23. 4. 9(土)	金ケ作、常盤平	松戸の里山風景から昭和のガーデンシティへ	緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市	中止
13	23. 7. 10（日）	北松戸・上本郷	「北松戸から上本郷のみどりと湧水をめぐる」	緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市	40 名
14	23. 9.25(日)	常盤平、金ケ作	ヒガンバナ咲く里やま風景から昭和のガーデンシティー	緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市	71 名
15	23. 11. 9（水）	松戸	巨樹・古木めぐり（戸定から千葉大へ）	松戸市	25 名
16	23. 12. 11(日)	常盤平、千駄堀	常盤平～千駄堀・初冬の森を巡る	緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市	71 名
17	24. 3. 11（日）	栗山・矢切	松戸の宝・矢切の斜面林をめぐる	緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市	50 名
18	24. 7. 8（日）	松戸・本町	坂川からふれあい松戸川を巡る	緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市	39 名
19	24. 11. 11（日）	金ケ作	わくわく里やま活動ミニ体験	緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市	36 名
20	24. 11. 13（火）	松戸	巨樹・古木めぐり（戸定から千葉大へ）	松戸市	22 名
21	25. 2. 10（日）	矢切	矢切の斜面林散策とクリーンアップ	緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市	19 名
22	25. 4. 14（日）	紙敷	野ウサギすむ紙敷石みやの森でわくわく体験	緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市	29 名
23	25. 7. 14（日）	根木内	根木内歴史公園の自然と生きもの	緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市	26 名
24	25. 9. 27（金）	上本郷	巨樹・古木めぐり（上本郷の七不思議と巨樹）	松戸市	15 名
25	25. 9. 29（日）	常盤平、金ケ作	ヒガンバナ咲く里やま風景から昭和のガーデンシティー	緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市	70 名
26	25. 12. 8（日）	本土寺・大谷口	「歴史薫るみどり・本土寺周辺～大谷口歴史公園を歩く	緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市	70 名
27	26. 4. 13（日）	紙敷・河原塚	「自然再生の国分川～古墳の森を歩く」	緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市	57 名
28	26. 5. 18（日）	千駄堀	新緑の千駄堀の森を巡る	緑ネットワーク・まつど、後援行動会議、松戸市	72 名
				合　　計	1284 名

第２回 オープンフォレストin松戸

松戸市制施行７０周年記念

里やまボランティアが活動する民有林の公開

おいでよ！松戸の森へ

松戸にも、森の所有者の想いとボランティアの汗とにより守られている森があります。
この機会に森に入って、森の風、森の光、森の声、森の香りを感じてみませんか！
都市に残された貴重な森を未来の子供たちに引き継ぐために、何ができるかを考える
きっかけとなることを願って「第２回オープンフォレスト in 松戸」を開催します。

オープンフォレストではふだん入ることのできない
個人の森を所有者の協力を得て公開します。

（写真は第１回のスナップです）

■森ではこんなこともできるよ！

・散策、たんけん、自然かんさつ
・ハンモックでの～んびり・ロープ遊び、工作や作業体験など
　場所：各森の位置は裏面（別に詳細地図版もあります）
　時間：10 時～15 時（各森で公開日・内容は異なります）

■森の文化祭

・里やまボランティア団体などの活動紹介や作品展示
　場所：21 世紀の森と広場　パークセンター2 階
　時間：10 時～15 時　＊5/20(月)休館日

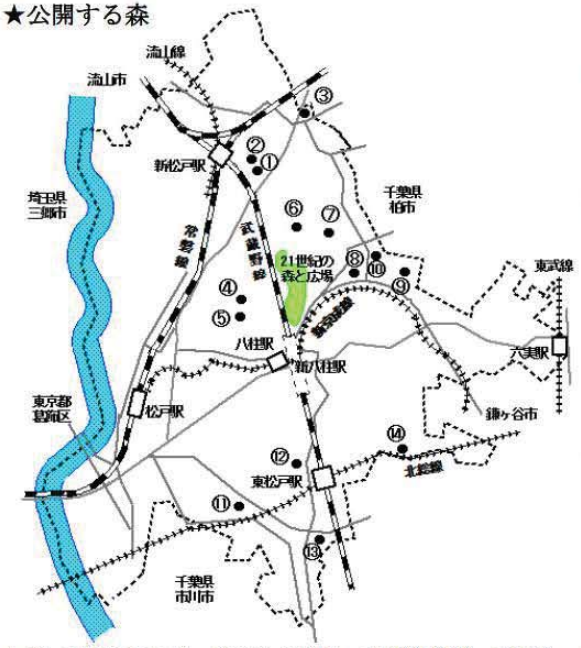
■オープニングイベント

・屋外展示、草笛や竹工作体験など（つくった作品は、お持ち帰りできます）
　場所：21 世紀の森と広場パークセンター前
　日時：5/18(土)10 時半～12 時（雨天中止）
・21 世紀の森と広場をご案内
　いつもと違う目線で森の観察を楽しもう！
　日時：5/18(土)13 時パークセンター前集合、15 時頃解散

共催：オープンフォレスト in 松戸実行委員会、松戸市
お問い合わせ先：実行委員会事務局　TEL 090-1209-2254　松戸市みどりと花の課　TEL 047-366-7378

(CAT.OF2-201304)

★公開する森



■幸谷・根木内地区
①関さんの森
②溜ノ上の森
③根木内歴史公園

■千駄堀・八ヶ崎・金ケ作地区
④芋の作の森
⑤しんやまの森
⑥八ヶ崎の森
⑦ホダシの森
⑧囲いやまの森
⑨三吉の森
⑩立切の森

■高塚・秋山地区
⑪秋山の森
⑫河原塚古墳の森
⑬小浜屋敷の森
⑭紙敷石みやの森

★森で出来ること（◎は公開日で公開時間：10 時～15 時）

	名称＼公開日	5月 18	⑲	20	21	22	23	24	25	㉖	森で出来ること	
幸谷・根木内	関さんの森	○	◎	○	○	○	○	○	○	◎	○は、森を自由に散策出来ます。案内人はいません。 ◎は、関さんの自宅の庭、蔵、門や邸宅建築のガイド	5/21(火) 自然観察会 新松戸駅10時集合 →幸谷観音→関さんの 森→溜ノ上の森 参加費200円
	溜ノ上の森	○	◎	○	○	○	○	◎	○	○	○は、自由に散策出来ます。案内人はいません。 ◎は、森のブランコ、ハンモック、輪投げ、竹ぽっくりなど	
	根木内歴史公園	○	◎	○	○	○	○	◎	○	○	◎は、公園に案内人がいます。 ○自由に散策出来ます。	
千駄堀・八ヶ崎・金ケ作	芋の作の森		◎				◎			◎	森の自然観察 森の中や周辺の森をご案内、樹木解説	
	しんやまの森		◎							◎	森の自然観察 森の中や周辺の森をご案内、樹木解説、樹木に名札付け	
	八ヶ崎の森		◎			◎			◎		お花見散策このくぐりハンモック。 竹ボックり作りや丸太伐り、ロープ遊びなど	5/22(水) 森のご案内 常盤平駅10時集合 →囲いやまの森 →ホダシの森 →八ヶ崎の森 →21世紀の森と広場 森の文化祭
	ホダシの森		◎						◎		ハンモックで寝しの一時を、素人紙芝居、5目並べや13・9路盤で子供囲碁教室、林間コースでグランドゴルフも！	
	囲いやまの森		◎			◎			◎		常盤平北口から徒歩6分。ウグイス鳴く広い森で、ゆったりロープで木登りや縦渡り、ミニ木こり体験など	
	三吉の森		◎	◎	◎			◎	◎	◎	自然観察(竹林、6本の市指定巨木めぐりを中心に、下草、昆虫、小鳥の観察)、ハンモックで森林浴、竹細工体験、	5/19(日)森のご案内 常盤平駅10時集合 祖光院、金ケ作自然公園 を経て森へ
	立切の森		◎	◎	◎			◎	◎	◎	竹馬遊びほか 立切の森には「三吉の森」で受付後希望者をご案内	
高塚・秋山	秋山の森		◎				◎			◎	竹林の散策、癒し体験ほか	
	河原塚古墳の森		◎							◎	1号古墳のご案内と説明(11時、14時) グランドゴルフなど指導員がついて実技講習、竹細工体験	
	小浜屋敷の森		◎				◎				森の中をご案内、グリーンアドベンチャー 竹細工体験、のこぎりやチェンソーを使った丸太切り体験	
	紙敷石みやの森		◎				◎				森の自然観察、森の散策、癒し体験ほか	
森の文化祭 パークセンター2階		◎	◎	休館	◎	◎	◎	◎	◎	◎	里やまボランティア団体などの活動紹介、森の工作展示、 5/18(土)屋外展示と 草笛や竹工作体験(雨天中止)、13時パークセンター前から21世紀の森と広場ご案内	

第３回　オープンフォレスト in 松戸

里やまボランティアが活動する民有林の公開

松戸にも、森の所有者の想いとボランティアの汗とにより守られている森があります。
ふだん入ることのできない民有林が公開されるこの機会に、森の風、森の光、森の声、
森の香りを感じてみませんか！
都市に残された貴重な森を未来の子どもたちに引き継ぐために、何ができるかを考える
きっかけとなることを願って「第３回オープンフォレスト in 松戸」を開催します。

森でできること

散策、たんけん、自然かんさつ、リフレッシュ、森によってはハンモックやロープあそびなども
場所：各森の位置は２，３面の地図をご覧ください
時間：10 時～15 時（各森で公開日・内容は異なります）

森の文化祭

里やまボランティア団体などの活動紹介や作品展示
場所：21 世紀の森と広場　パークセンター
時間：10 時～15 時　＊5/19(月)休館日

オープニングイベント

屋外展示、草笛や竹工作体験など（つくった作品は、お持ち帰りできます）
場所：21 世紀の森と広場パークセンター前
日時：5/17(土)13 時～14 時半（雨天中止）

森には駐車場・トイレは ありません。
安全のため、長そで、長ズボン、運動靴で。帽子もお忘れなく！

申込み不要
詳しくは、ホームページ参照
（オープンフォレスト松戸）
で検索

共催：オープンフォレスト in 松戸実行委員会、松戸市
お問い合わせ先：実行委員会事務局　TEL 090-1209-2254　松戸市みどりと花の課　TEL 047-366-7378

(CAT.OP3-201402)

★公開する森

★森の公開日・森で出来ること（◎は公開日で公開時間：１０時～１５時）

名称	公開日 5月 17	18	19	20	21	22	23	24	25	森で出来ること（荒天の場合は中止）	
幸谷根木内 ①関さんの森	○	◎	○	○	○	○	○	○	◎	◎は、関さんの自宅の庭、畑、門や旧耕地のガイド ○は、森を自由に散策出来ます。 室内入はいません。	5/21(木) 自然観察会 新松戸駅 10 時集合 一参加記事一問さんの森 一芋ノ上の森 参加費 200 円
幸谷根木内 ②溜ノ上の森	○	◎	○	○	○	○	◎	○	○	◎は、森のプランコ、ハンモック、樹探ず、竹ぼっくりなど ○は、森を自由に散策出来ます。 室内入はいません。	
幸谷根木内 ③根木内歴史公園	○	◎	○	○	○	○	◎	○	○	◎は、公園に案内人がいます。 ○は、公園を自由に散策出来ます。 室内入はいません。	
千駄堀 ④縄文の森	○	◎	○	○	○	○	○	○	◎	◎は、森の辺り、21 世紀の森と広場「縄文の森」のご案内ほか ○は、森を自由に散策出来ます。 室内入はいません。 5/18(日)は松戸市立博物館の観覧が無料です。	
千駄堀 ⑤芋の作の森		◎				◎		◎	◎	森の自然観察 森の中や周辺の森をご案内、樹木観察	5/18(日)みどり再発見ツアー 新京成八柱駅 9 時半集合 一しんやまの森一芋の作の森 一21 世紀の森と広場 参加費 200 円
千駄堀 ⑥しんやまの森		◎							◎	森の自然観察 森の中や周辺の森をご案内、樹木観察、樹木に名札付け	
八ヶ崎・金ケ作 ⑦八ヶ崎の森		◎							◎	森の散策、ハンモック、ロープ遊び 竹ぼっくり作りや大太鼓ほか	
八ヶ崎・金ケ作 ⑧ホダシの森		◎							◎	ハンモックで癒しの一時を、未人経歴書、林間コースでグランドゴルフも！	
八ヶ崎・金ケ作 ⑨囲いやまの森		◎		◎					◎	笹竹平北口から徒歩8分、ウグイス啼く広い森で、ゆったり ロープで木登りや斜面り、ミニネコリ体験など	
八ヶ崎・金ケ作 ⑩三吉の森		◎	◎				◎	◎	◎	自然観察「竹林や6本の松戸市指定巨木めぐりを中心に、下草、昆虫、 小鳥の観察、ハンモックで森林浴、竹細工体験、草木染、竹馬遊びほか、 立切の森には「三吉の森」で受付後、希望者をご案内	5/18(日)森のご案内 笹笹平駅 10 時集合 指北院、金ケ作自然公園を 経て森へ 参加費無料
八ヶ崎・金ケ作 ⑪立切の森		◎	◎				◎	◎	◎		
秋山・紙敷 ⑫秋山の森		◎			◎			◎		竹林の散策、癒し体験ほか	
秋山・紙敷 ⑬河原塚古墳の森		◎							◎	古墳探（5ヶ所）のご案内と説明（11 時、14 時） グランドゴルフなど御指名がついて実技講習	5/24(土) 森のベリツアー 新松戸駅 10 時半集合（14 時解散） 一河原塚古墳の森一 石みやの森一わんぱくの森
秋山・紙敷 ⑭紙敷石みやの森		◎							◎	森の自然観察、森の散策、癒し、体験ほか	参加費無料　弁当持参
秋山・紙敷 ⑮小浜屋敷の森		◎				◎				プレオープン 3/27(木)・4/24(木) 10時～12時、山野草が開花しています。 5/18・5/22 森の散策、グリーンアドベンチャー、ハンモック、笹木配布（先着20名）	
森の文化祭 パークセンター	◎	◎	休館	◎	◎	◎	◎	◎	◎	21 世紀の森と広場パークセンター内で、里やまボランティア団体などの活動紹介、森のエ作展。 5/17(土)13 時よりパークセンター前でオープニングイベント（屋外展示、草笛や竹工作体験、雨天中止）	

森へようこそ
第3回オープンフォレスト in 松戸 ガイドブック
共催：オープンフォレスト in 松戸実行委員会、松戸市
実行委員会：里やま整備人（千葉大学）
松戸里やま応援団一足の会、同囲いやまの会、同三吉の会、同四季の会、
公戸ふるさと森の会、松戸里やま応援団一足の会、同八柱の会、同七草の会、
同囲やまV・千駄堀、同小浜の森の会、同七草の会、同さんの森と森と森と

公園再整備ワークショップ部会活動記録

資料8

日　付	内　　容	備　考
24.11.30	部会	準備会
25.1.16	第1回松戸中央公園模擬ワークショップ	
25.2.1	第2回松戸中央公園模擬ワークショップ	
25.2.20	部会	模擬ワークショップの検証
25.6.3	第４回緑推進委員会	
25.7.1～31		公園再整備ガイドライン　パブリックコメント（公園緑地課）
25.7.16		ワークショップ及び設計業務 委託契約（公園緑地課）
25.10.8	部会	ワークショップ準備経過報告、今後の進め方など
25.10.16		
25.10.21	第1回金ヶ作公園再整備ワークショップ	高橋節氏出席
25.10.23	部会	初回終えての報告、次回以降について
25.11.17	第2回金ヶ作公園再整備ワークショップ	高橋盛男氏出席
25.11.25	第５回緑推進委員会	
25.12.15	第3回金ヶ作公園再整備ワークショップ	上野氏出席
26.1.6	部会	ワークショップ後について
26.1.11	第4回金ヶ作公園再整備ワークショップ	高橋盛男、高橋節氏、横山氏、上野氏出席
26.1.31	（仮称）金ヶ作公園見守り隊立上げサポート	

第１回 金ヶ作公園 ワークショップ

日　時：　平成 25 年 10 月 20 日（日）
13:00 ～ 16:00
場　所：　金ヶ作公園、常盤平市民センター　本館ホール
出席者：　40 名　（内　市４名、コンサルタント６名）

このたびは「金ヶ作公園」の再整備を考えるワークショップにご参加・ご協力いただきありがとうございます。あいにくの雨でしたが、現地調査にもご協力いただき、大変お疲れ様でした。

第１回のワークショップでは「新しい公園をみんなで考えよう！」をテーマに、５つの班に分かれ、班ごとに設定されたテーマを意識して「どんな公園にしたいか、公園で何がやりたいか」についてワールドカフェ方式で話し合い、図面に書き込みながらみんなで考えました。

ワークショップってなに？

地域の方の考えや意見を把握し、合意形成を図るための手法です。

もともとは「仕事場」「工房」「作業場」など共同で何かを作る場所のことで、ここから「参加者が自ら参加・体験し、グループの中で何かを学びあったり創り出したりする場」を意味しています。

ワールドカフェってなに？

その名の通りカフェのようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、ほかのテーブルとメンバーを入れ替えて対話を続けることにより、参加者全員の意見や知識を集めることができる対話手法です。

ワークショップの流れ

①現地に行き、公園の状況を確認しました。雨の中での調査は大変でしたが、排水の状況等がよく分かりました。

②テーブル毎に設定されたテーマを意識しながら、どんな公園にするかを話し合いました。

③班のメンバーを入れ替え、自分のテーブルでの意見などを踏まえて話し合いました。

④班のメンバーを元に戻し、ほかのテーブルでの意見を紹介しながらもう一度協議しました。

⑤最後に、班ごとに発表を行いました。

各班の成果

金ヶ作公園の現地状況を確認してから、現在の問題点や公園の将来像について各班で意見を出し合い、図に書き込んでまとめました。

A班 （テーマ：安心・安全）

	［ 主な意見 ］
＜明るい公園にする＞	照明が暗い/木を間引く/外路から見渡せるように/防犯カメラ設置
＜自然を壊さない整備＞	緑豊かな公園/自然の高台を利用した土地/自然を壊さない整備が必要
＜子供スペースの充実＞	子供の遊ぶスペースが少ない/遊具広場の施設の劣化/芝生があると良い/大人中心の公園になっている
＜排　水＞	水の流れが悪い/水がたまる/側溝が必要
＜運　営＞	管理が必要/管理の連携があると良い/ドッグランをどうするか
＜入　口＞	正門を正門らしくする
＜園　路＞	車いすで上がれない

B班 （テーマ：防災）

	［ 主な意見 ］
＜防　災＞	トイレと水道の整備/マンホールトイレ・かまどベンチ・井戸（手動式）の設置/避難所表示の明確化/備蓄倉庫の設置/防災訓練をしたい
＜防　犯＞	暗くて人通りが少なくて怖い/見通しが悪い/街灯が少ない/防犯対策が必要
＜自　然＞	高木が多すぎる
＜グラウンド＞	砂埃がひどい/砂埃対策として、水をまいてから使用/芝生にすれば砂埃もなくなり、小さな子供にも良い/芝生は管理が大変/グラウンドを通らず散策できるように
＜排　水＞	公園の隅が冠水する/側溝に土砂が詰まる/土砂の流出/縁石を高くして土砂を防ぐ

赤字：２班以上共通の意見　青字：独自の意見

C班 （テーマ：地域らしさ）

	［ 主な意見 ］
＜地域らしさ＞	松戸の中でも緑が多い「常盤平の森」/周りが団地で人が多い/水がおいしい（地下水）
＜自　然＞	自然豊か/緑が多い/ユーカリは倒れやすい/広葉樹の散歩道を整備/四季を感じる植栽図や樹名板の設置/花壇がほしい
＜防　災＞	防災倉庫が必要/かまどベンチがほしい
＜管　理＞	管理が悪いところもある/グラウンド有料化/誰が管理するのか/ごみが落ちていない
＜子供が集まらない＞	暗い/湿っぽい/滑りやすい/古い/子供が遊べない/見通しを良く/子供は明るいところへ
＜広場・園路＞	散策道がほしい/公園を１周できた方が良い/たまり場がほしい/入口のバリアフリーが必要/グラウンドの砂埃対策が必要

D班 （テーマ：子育て）

	［ 主な意見 ］
＜全　体＞	公園のテーマが決まってない/30 年・50 年後のまちづくりを考えた公園の整備/UR 団地の建て替えとセットで考える/幅広い人が利用する公園にする
＜自　然＞	四季がテーマの植栽を考える/適切な伐採等の管理/園路の整備
＜防災・防犯＞	避難所としての機能（かまどベンチ・マンホールトイレ・井戸など）を強化/監視カメラの設置/防犯灯の充実
＜グラウンド・広場＞	土埃が多い/芝生が十分に管理されていない/水はけがよくない/施設が老朽化
＜入　口＞	正門には人を引き込むような工夫を
＜利　用＞	今後の課題は公園利用のあり方

E班 （テーマ：行きたくなる公園）

	［ 主な意見 ］
＜気になること＞	トイレが少ない/木々が高くて暗い/死角が多い/グラウンドの砂埃がひどい/雨天時の排水が良くない
＜管　理＞	管理が大事/緑の管理が重要/整備するよりも管理が重要かもしれない
＜整　備＞	施設（だれでもトイレ・ベンチ）のグレードアップ/バリアフリーにする/グラウンド整備/正門からの通路をメインの遊歩道に
＜広　場＞	もっと活用できる/芝生・花壇を整備/遊具が少ない/ジメジメしていて暗い
＜防　災＞	避難場所としての設備充実/避難場所としての周知
＜入　口＞	正門は見通しが悪く、入りづらい雰囲気
＜自　然＞	高木が多い/緑がきれい/斜面があって良い

今回のワークショップのまとめ

［共通意見］
- 暗くて見通しが悪い　⇒　明るい公園に
- 避難場所としての機能（かまどベンチ・マンホールトイレ・井戸など）を強化
- 管理（施設・緑）が必要　・グラウンドの砂埃対策が必要
- 子どもが遊べる広場の整備　・排水対策が必要　・正面入口の改良

［今後の課題］
- 自然を壊さない整備　⇔　見通しを良くするための整備
- 公園利用（ルール）のあり方　・公園のテーマ設定
- 管理方法

ワークショップの感想

色々な人の話が聞けて勉強になった。　/意見について、共通点の多さに驚いた。　/初めて参加したワークショップ方式はなかなか面白かった。　/安らぎのある公園にできればいい。　/運営・管理の方法などについてもっと明確にした方がいいのではないか。　/意見が多数あることを住民としてうれしく思った。　/出席者に前もって検討ができるような資料などを配ればもう少し時間を短縮できる。　/楽しい雰囲気でよかった。　/防災訓練だけではなく各種イベントを随時開催できたら面白いのではないか。　/素敵で明るい公園にしてゆきたいという気持ちがより強くなった。　/核家族化が進む中、年上の方々との交流が大事だと思う。　/防災を主体に作成してほしい。

次回のワークショップは

１１月１７日（日）　13：00 ～

常盤平市民センターで開催予定です。
ご参加をお待ちしております。

＜お問い合わせ先＞
松戸市役所　街づくり部　公園緑地課
担　当：霜田、北口、川辺
ＴＥＬ：３６６－７３８０
メール：mckouen@city.matsudo.chiba.jp

第２回　金ヶ作公園 ワークショップ

日　時：　平成 25 年 11 月 17 日（日）
13:00 ～ 15:30
場　所：　金ヶ作公園、常盤平市民センター別館　会議室
出席者：　40 名　（内　市４名、コンサルタント８名）

このたびは「金ヶ作公園」の再整備を考えるワークショップにご参加・ご協力いただきありがとうございます。
第２回のワークショップでは「新しい公園の使い方を考えよう！」をテーマに、５つの班に分かれ「再整備後の公園のテーマ、公園のテーマに合わせたゾーニング」について「どんな公園にしたいか、使い方をどうするか、施設をどの位置に配置するか」などを話し合い、図面に書き込みながらみんなで考えました。

ワークショップってなに？

地域の方の考えや意見を把握し、合意形成を図るための手法です。

ワークショップの流れ

①＜前回のふりかえり＞

前回ＷＳの結果について「かわら版」を用いて確認しました。

②＜グループワーク１＞

前回ＷＳのキーワードを整理したカードを用い、「再整備後の公園のテーマ」について考えました。

③＜グループワーク１＞

各班の結果発表を行いました。

④＜グループワーク２＞

公園のテーマに合わせ、使い方や園路の位置、施設の配置などを考えました。

⑤＜まとめ＞

班ごとに、本日の成果の発表を行いました。

グループワーク１

前回 WS で頂いた「こんな公園にしたい」という要望の中からキーワードを整理し作成したカードの中で最も大切と思えるものを一人３つ選び、次にグループとして大切なテーマを３つに絞り込みました。

各班の結果を合計すると、**『松戸の豊かな緑を残す「常盤平の森」公園』『避難場所としての機能が充実した 地域の防災拠点公園』『子供からお年寄りまで 幅広い世代の人が交流できる公園』**の３つが 16 票で同率１位、次いで**『樹木が適切に管理された 見通しが良い公園』『30 年から 50 年後のまちにもとけこむ 地域の顔となる公園』**が 11 票となりました。

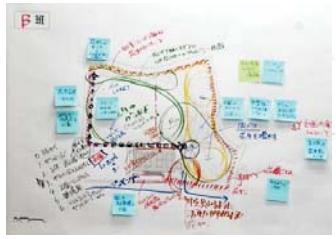
グループワーク２

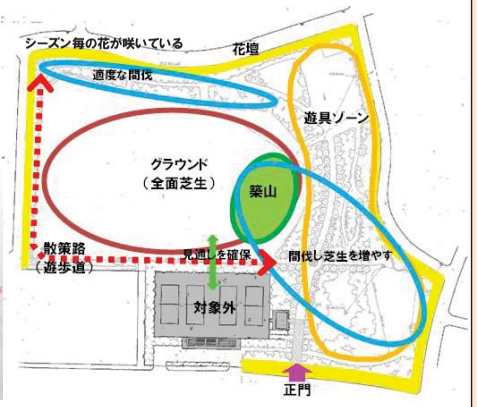
公園のテーマに合わせ、ゾーニングを考えました。現在の場所をそのまま使うか、使い方を変えるか、園路をどこに通すか、施設をどの位置に配置するかなどを話し合い、図に書き込み考えました。

A班　※（テーマ：樹木が適切に管理された 見通しが良い公園）

	［　主な意見　］
<入　　口>	グラウンドへ大型車が入れるようにする/北西もしくは北の出入口にスロープをつくる
<グラウンド>	すべての場所で土を残したい/吸水・排水に優れたグラウンドとする
<園　　路>	公園を一周できる散策路を整備/テニスコートと団地の間に車が入る通路を整備/緊急車両に対応した園路/西側はグラウンドではなく道路に沿うような形で散策路を整備
<ミニ広場>	遊具は設置しない/遊び場の周りに花壇を設置/アスレチック設備か水場・川を配置/幼児とお年寄りが安心して遊べるようにする
<ちびっこ広場>	小屋を取り除き、見通しを良くする/整地の上に芝生を張る/高木を伐採し、樹木を整理/森に合うような魅力的な遊具を設置
<施　　設>	きれいで明るいトイレの整備・増設/ベンチを増設する/ベンチには防災機能を持たせる/排水溝の整備・管理

B班　※（テーマ：子供からお年寄りまで幅広い世代の人が交流できる公園）



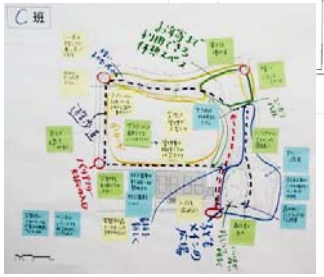


	［　主な意見　］
<グラウンド>	裸足で遊べるよう全面芝生とする/かまどベンチを設置/テニスコートとの間の見通しを確保/東側に築山をつくる
<園　　路>	グラウンドの西と南に散策路を整備/路面は舗装と土で構成
<遊具ゾーン>	年齢に合わせた遊具ゾーンを形成/ボール遊びができるスペースをつくる
<施　　設>	防災機能を高めるため、防災倉庫を必要数設置/バーベキューができるように、かまどベンチなどを設置
<緑の整備>	林は間伐し、芝生を増やす/北側はＵＲ団地とのプライバシーの問題を考慮し、適度に間伐
<花　　壇>	見通し確保のため、公園の周囲に花壇を設置/花壇には四季・シーズンごとに花が咲く/花暦など多目的に活用

※　各班で最も意見の多かった公園テーマ

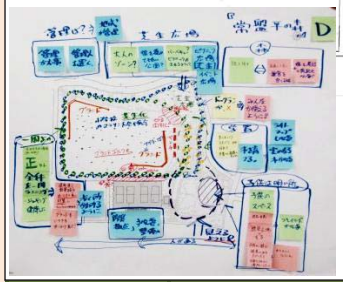
赤字：２班以上共通の意見　青字：独自の意見

C班 ※（テーマ：　松戸の豊かな緑を残す「常盤平の森」公園 子供からお年寄りまで 幅広い世代の人が交流できる公園）



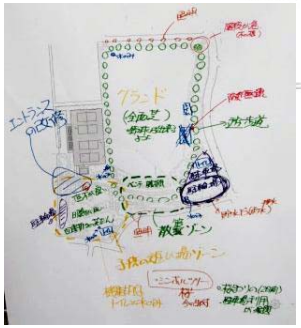
	[　主な意見　]
<入　　口>	正門は広くする/４箇所の出入口はバリアフリー対応とする（北西部はスロープ）
<グラウンド>	管理費が確保できれば芝生でもいい/グラウンドの有料化も検討/大きめの多機能トイレを設置
<園　　路>	公園を一周できる遊歩道を整備/メイン入口から北側に向かう通路をバリアフリー化しメインの園路とする
<広　　場>	新しい遊具を設置/西側のスペースには森の中にとけこむ遊具を設置/全体が見渡せる場所にベンチや東屋を設置/木を残しつつ明るくする
<休憩スペース>	照明灯を増やす/お年寄りも利用できる休憩スペースとする
<施　　設>	防災倉庫を１つにする/ベンチやパーゴラ（藤棚）も防災対応にする
<緑の整備>	ユーカリは伐採を検討/公園の北側は適度に間伐

D班 ※（テーマ：避難場所としての機能が充実した 地域の防災拠点公園）



	[　主な意見　]
<グラウンド>	芝生化/ナイターも検討/東側にベンチを設置
<園　　路>	周回遊歩道（特に西側）の整備/遊歩道・散策路を少しクッション性のある水はけの良い材質で整備/歩く所が分かるようにする
<芝生広場>	大人のためのゾーンとする/バーベキュー、ピクニック等ができるようにする
<子供のスペース>	遊具の見直し/遊具広場とする/公園の外から中が見えるようにする/遊具のあるスペースは日当たりの良い場所にしたい
<自然を学ぶスペース>	木を育てる/実のなる木が必要/ライトアップする/不要な雑草は手入れを行う
<緑の整備>	テニスコート・グラウンド間の樹木を切る、もしくは間引く/グラウンド・芝生広場間の樹木を切る、もしくは間引くことで明るくする
<管　　理>	管理が大事/管理人を置く/地域が管理

E班 ※（テーマ：避難場所としての機能が充実した 地域の防災拠点公



	[　主な意見　]
<入　　口>	エントランスを改修
<グラウンド>	全面芝生とする/野球はできるようにする
<園　　路>	公園を周回できる遊歩道を整備
<子供の遊び場ゾーン>	機能的なトイレと水飲み場の設置/南側は駐輪場にする/四季折々の花が咲く花壇を設置/日陰がほしい
<散策ゾーン>	ベンチ、藤棚の整備
<駐　　車>	北東の広場は駐車場、駐輪場とする/貯水槽の整備
<整　　備>	トイレの増設/公園の東西にある道路に照明を増設
<シンボルツリー>	シンボルツリーの検討/桜をシンボルツリーにする/今植えられているものを活かす
<課　　題>	桜まつり（２日間）の駐車場利用

今回のワークショップのまとめ

[共通意見]

- 樹木の適切な間伐、伐採　⇒　見通しを良く
- 公園を一周できる散策路の整備
- 出入口の改良　　・遊具広場の見直し
- トイレ、ベンチ、照明灯の増設と整備

[今後の課題]

- 土のグラウンド　⇔　芝生のグラウンド
- 公園東側の使い方（遊具広場の位置、範囲）
- 散策路の位置　　・駐車場の設置

ワークショップの感想

アンケートを取るなどして子供や若者の意見をもっと取り入れたい。　/活発で具体的な意見交換があり良かったと思う。　/金ヶ作公園について、皆がどれだけのことを考えているか、地域の人たちに愛されているのかということが分かった。　/ゾーニングについての検討でしたが、平面利用のみでなく駐車場の地下化など立体利用を考えたい。　/各班ともほぼ共通の改良案が出た。周回遊歩道、ベンチ、トイレなど、ぜひ実現してほしい。　/テーマ、ゾーニングの話で具体的な公園のイメージが見えてきた様な気がした。　/災害時の想定は議論を整理するうえで必要だと思った。　/「子供たちに意見を聞く」ということを是非やって頂きたいと思っている。

次回のワークショップは

１２月１５日（日）　１３：００ ～

常盤平市民センターで開催予定です。
ご参加をお待ちしております。

＜お問い合わせ先＞
松戸市役所　街づくり部　公園緑地課
担　当：霜田、北口、川辺
ＴＥＬ：３６６－７３８０
メール：mckouen@city.matsudo.chiba.jp

第３回 金ヶ作公園 ワークショップ

日　時：　平成 25 年 12 月 15 日（日）
13:00 ～ 15:30
場　所：　金ヶ作公園、常盤平市民センター　会議室
出席者：　35名　（内　市４名、コンサルタント６名）

このたびは「金ヶ作公園」の再整備を考えるワークショップにご参加・ご協力いただきありがとうございます。
第３回のワークショップでは「新しい公園のプランを考えよう！」をテーマに４つの班に分かれ、「新しい公園のプラン」について前回の意見をもとに作成した２つの計画案を比較しながら話し合い、図面を用いてみんなで考えました。

ワークショップってなに？

地域の方の考えや意見を把握し、合意形成を図るための手法です。

ワークショップの流れ

①＜前回のふりかえり＞
前回WSの結果について確認しました。

②＜グループワーク＞
前回の意見をもとに作成した計画案を比較しながらグループごとの最終案をまとめました。

③＜グループワーク＞
各班の成果の発表を行いました。

④＜全体のまとめ＞
各グループの結果を集計し、全体としての意見をまとめました。

ゾーニングプラン

前回 WS でみなさんから頂いた意見をもとに、計画案を２つ作成しました。この２つの計画案を比較しながら、各グループで話し合いました。

現状との比較

Ⅰ案かⅡ案のどちらかを選択するのではなく、いくつか設けられた議題テーマについて現状とⅠ案・Ⅱ案を比較しながら、各グループでの最終案をまとめました。

	現状	Ⅰ案	Ⅱ案
テーマ	―	開放制のある緑の公園 （現在よりも開放的な空間構成とし、全体的に芝生を用い、新たな公園のイメージとしている）	既存樹木を生かした緑の森 （既存の空間構成を生かし、樹木の中に施設を配置し、常盤平の森をイメージしている）
グラウンド	土舗装 （一部芝生舗装）	内野※のみ土舗装、その他グラウンドカバー ※社会人軟式野球対応	外野のみグラウンドカバー、その他土舗装
既存樹木	３年に１度の剪定 危険樹木の伐採	樹勢の良い木、公園のシンボルとなっている木、北側のマツ等は残し、解放性を持たせるためメインエントランス付近・外周部の低木は伐採する	倒木の危険性がある木や見通しを遮っている木については、安全性・見通しを確保するため伐採するが、できるだけ現況を生かす
散策ゾーン	２種類のジョギングコース （舗装の劣化によりコースが不明確）	健康づくりを目的としたエリア 健康遊具を園路沿いに配置	既存の樹木の中をゆっくりと散策できるスペース
子供広場	公園北東部に二連ブランコ、ジャングルジム、砂場、滑り台のある遊具広場あり	公園南東部全体を現在の高低差を生かし、一体的に子供広場として整備	現在の広場はそのまま活用 樹木を出来るだけ残し、森の中の広場とする
公園北東部広場	自動遊具広場、野外舞台	全面芝生広場	現在の形状を生かした広場
市民花壇	なし	なし	あり
園路	最少有効幅員 1.8mは確保	最低限必要な幅員を確保	最低限必要な幅員を確保
休憩施設	ベンチ	ベンチ・東屋	ベンチ・東屋
トイレ	３箇所	２箇所	２箇所
駐輪場	なし	あり（２箇所）	あり（２箇所）
防災倉庫	自治会ごとに設置	まとめて１箇所に設置	まとめて１箇所に設置

グループワークの結果

各議題について『Ⅰ案』・『Ⅱ案』・『その他』からグループごとに最終案を選びました。その結果は①のようになり、班ごとに少し意見が分かれました。そこで全体で再度意見交換をして、意見を一つにまとめました。まとまった意見をもとに次回WSでは最終の計画案を提示します。

①投票結果

議　題	A班	B班	C班	D班
グラウンド（グラウンドカバーの範囲）	Ⅱ ・維持管理ができるなら芝生	Ⅰ ・多目的に利用できる全面芝生	Ⅰ ・野球利用に制限されない形	Ⅱ ・中央部のみ芝生化する
既存樹木（伐採する樹木の方針）	Ⅱ ・維持管理が大事	Ⅰ＋Ⅱ ・高木を残すつつ、見通しを確保	Ⅰ ・伐採はほどほどに見通しを良く	Ⅰ ・古い木や針葉樹を切る
散策ゾーン	Ⅱ ・間伐して明るく	Ⅱ ・健康遊具は利用されなくなる	Ⅱ ・健康遊具は利用されなくなる	Ⅰ ・日だまり健康ゾーンとする
子供広場（広場構成）	Ⅱ	Ⅱ ・見通し確保 ・公園のメインとなるの遊具を	Ⅰ ・子供が安心して遊べる場所に	Ⅰ ・明るい遊具ゾーンとする
公園北東部広場（広場構成）	Ⅱ ・野外舞台は必要なし	Ⅱ ・陽当たりよく ・利用方法を再度考える	Ⅱ ・全ての場所が芝生でなくて良い	Ⅱ ・子供には土が良い
市民花壇	有	無 ・管理が難しい	有 ・同好会を作ればできるのでは	有 ・ボランティアが立ち上がれば可能
その他	・排水できるように	・子供たちの集まれる場所に	・テニスコートのトイレも使えるように	・駐輪場は出来るだけ多く欲しい

②集計結果

（　○：採用案　△：折衷案　）

議　題	Ⅰ案	Ⅱ案	コメント
グラウンド（グラウンドカバーの範囲）		○	維持管理が重要。行政だけで無く利用者も関わる管理のあり方を考える必要がある。野球にとらわれない多目的な利用が大切。
既存樹木（伐採する樹木の方針）	△	△	立派な高木は残しつつ、古い木や見通しを遮っている木は適宜伐採する。特に子供が利用するエリアの見通しを確保する。
散策ゾーン		○	健康遊具は使われなくなる可能性がある。歩きやすい園路があれば良い。
子供広場（広場構成）	△	△	土で遊べるスペースも重要なので土舗装の広場をメインとし、幼児用に少し芝生の場所があっても良い。
公園北東部広場（広場構成）		○	多目的広場が芝生になれば、こまで芝生にする必要は無い。陽当たりを良くする。野外舞台の必要性は検討が必要。
市民花壇		○	同好会やボランティアなどを結成して管理していけば良いのではないか。

今回のワークショップのまとめ

既存の空間構成を生かしたⅡ案をベースとして、以下の点に配慮した計画とする

- 多目的広場は**中央部のみ芝生**とし、野球だけでなく**多目的に利用できる広場**とする
- 既存樹木は**立派な高木は残しつつ、古い木や見通しを遮っている木は適宜伐採**する
- 散策ゾーンは健康遊具はなし
- 子供広場は土舗装をメインに、**周辺の見通しを確保**する
- 公園北東部の広場は土舗装とし、陽当たりの良い場所になるように配慮する
- **芝生の維持管理のあり方に関して**は、次回 WS 等での検**討が必要**

ワークショップの感想

色々な意見が出て、普段交わらない市民が交流できていい機会だと思います。　/子供の遊びの広場を明るい場所に、と皆さんの意見が一致して下さって嬉しいです。　/グラウンドカバーについては芝生化にしていただきたい。地元住民や公園利用者が砂埃で困っております。　/他の人の意見を聞くことが大切。他の考えも受け入れるゆとりで話を進められる雰囲気がほしい。　/議論は白熱して、参加者の熱意が感じられた。　/遊びの広場に関しては、今回出てきた案についての意見を幼稚園・保育園・小学校などで聞いた方が良いのかなと思った。　/まだまだ話し合う内容があると思いますが、充実できる話をしていきたい。　/「私たちの公園」という意識が高まってきている。

次回のワークショップは

1月11日（土）　13：30 ～　常盤平市民センターで開催予定です。
ご参加をお待ちしております。

＜お問い合わせ先＞
松戸市役所　街づくり部　公園緑地課
担　当：霜田、北口、川辺
ＴＥＬ：３６６－７３８０　　メール：mckouen@city.matsudo.chiba.jp

第４回 金ヶ作公園 ワークショップ

日　時：　平成 26 年 1 月 11 日（土）
13:30 ～ 16:00
場　所：　金ヶ作公園、常盤平市民センター　会議室
出席者：　38 名　（内　市７名、コンサルタント６名）

このたびは「金ヶ作公園」の再整備を考えるワークショップにご参加・ご協力いただきありがとうございます。
第 4 回のワークショップでは「公園プランを決定しよう！」「地域の関わり方を考えよう！」をテーマに４つの班に分かれ、前回の意見をもとに作成した最終計画案や新たな公園に対する地域の関わりについて話し合い、図面を用いて考えました。

ワークショップってなに？

地域の方の考えや意見を把握し、合意形成を図るための手法です。

ワークショップの流れ

①<前回のふりかえり>
前回WSの結果について確認しました。

②<グループワーク１>
前回の意見をもとに作成した計画案に対して、グループごとに意見をまとめました。

③<グループワーク１>
各グループの協議結果の発表を行いました。

④<グループワーク２>
新しい公園への地域の関わりや維持管理について、グループごとに意見をまとめました。

⑤<グループワーク２>
各グループの協議結果の発表を行いました。

⑥<全体のまとめ>
各グループの結果から、今後の展望や地域として出来る事柄をまとめました。

グループワーク１

前回 WS でみなさんから頂いた意見をもとに作成した最終計画案に対して、グループごとにもう少し改善したい場所について話し合い、意見をまとめました。

◎最終計画案と整備方針

項　目	方　針
テ　ー　マ	**既存樹木を生かした緑の森** （既存の空間構成を生かし、樹木の中に施設を配置し、常盤平の森をイメージ）
既存樹木	「倒木の危険性がある木」や「見通しを遮っている木」、「公園設計上支障になる木」については、安全性・見通しを確保するため伐採するが、出来るだけ現況を生かす。
多目的広場	多目的広場の中心はグラウンドカバー、その他は土埃の立ちにくく排水性の良い土舗装とする。
森の遊び場	現在の形状を出来るだけ生かしつつ、複合遊具や幼児用遊具を配置し、一体的に子供たちが遊べる見通しの良い、森の中の広場とする。
防　　災	「一次避難地（近隣住民の緊急避難の場および広域避難地までの中継地）」としての役割を果たせるように、避難対象者約 11,000 人を収容できるスペースを確保する。 災害時に炊き出し用のかまどとして機能するかまどベンチなどの設置を検討する。 公園南入口から西入口へ緊急車両の通りぬけを可能とする園路を配置する。
園路・排水	公園を一周できる歩きやすい園路を配置する。 南口エントランスについて公園内部への開放性を考慮した改修を行う。 雨天時に水が溢れることのないように、必要箇所に側溝や暗渠等を整備し、適切に排水が行えるように計画する。 また、舗装材も排水性の良い舗装を用い、降雨後すぐに公園を利用できるように配慮する。
バリアフリー	高齢者や障害者の方も利用できるように園路の幅員や勾配等は「松戸市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例」の基準を順守し設計する。
駐　車　場	現在の駐車台数は地区公園として必要な台数を満たしており、駐車台数は増やさないが、利用者が駐車しやすいように配置等の見直しを行う。
駐　輪　場	自転車利用が多いことに配慮し、公園南側、東側、西側の４箇所に駐輪場を整備する。

◎計画案・方針に対する意見

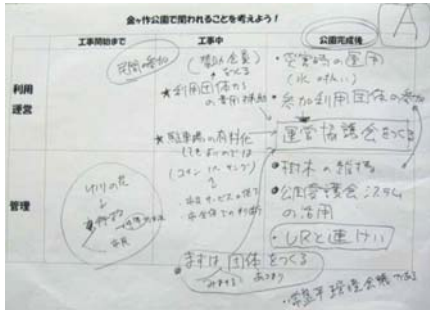
項　目	意　見
出　入　口	乳母車、車イスで入りやすいように /階段には手すりを
ベ　ン　チ	かまどベンチは安全に配慮し、勝手に使えないように　/かまどベンチだけでなく背もたれベンチも必要
グラウンド	野球場は２面必要か　/野球場は子供用に　/全面芝生　/最初のうちは維持管理をやるが年数が経つとやらなくなる
駐車場	障害者用の駐車スペースが必要　/駐車場の利用時間はテニスコートに合わせていいのか　/テニスコート専用の駐車場ではないので使い方を考えなおす
	グラウンド・駐車場の使い方、維持管理方法については今後も話し合いを続けていきます。
そ　の　他	災害時に水が使えるようにしてほしい　/足場を良くしてほしい

これらのご意見をふまえ、
最終計画案を作り上げていきます。

グループワーク２

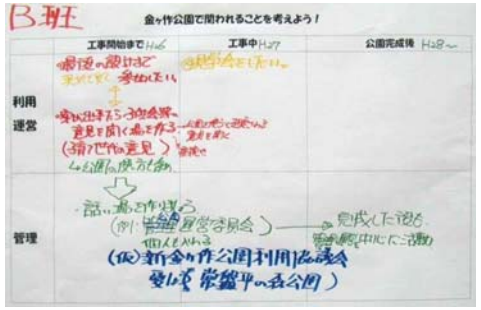
新しい公園が出来るまで、そして出来てから、地域としてどのように関わることができるか、利用・運営、管理についてグループごとに話し合いました。

◎各グループの意見



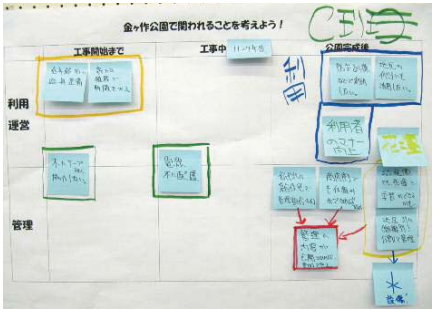
A グループ

	利用・運営	管理
工事開始まで（H26）	運営協議会をつくる まずは見守る団体（集まり）をつくる ・利用団体の参加 ・利用団体からの費用補助（賛助会員をつくる） ・UR、民間、常盤平環境会議との連携や調整との連携 （検討内容） ・駐車場の有料化（コインパーキング） ・災害時の運用（水の扱い）　など	―
工事中（H27）		
公園完成後（H28～）		・樹木の維持 ・公園愛護会システムの活用



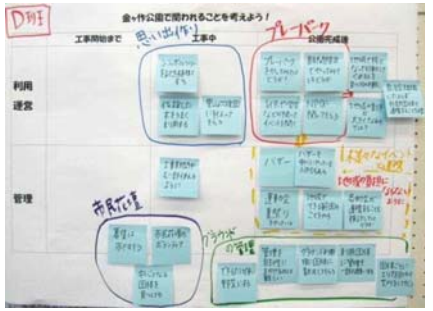
B グループ

	利用・運営 / 管理
工事開始まで（H26）	・最後の設計まで現地で見て参加したい ・案ができたら、公園の使い方も含め子供会等（子育て世代）の意見を聞く場をつくる
工事中（H27）	・話し場を作る（例：公園運営委員会） （仮）新金ヶ作公園利用協議会 愛称：常盤平の森公園 ↓ 完成した後も管理・運営を中心に活動
公園完成後（H28～）	



C グループ

	利用・運営	管理
工事開始まで（H26）	・低年齢用の遊具を整備 ・新たな植栽で特徴をつくる	・伐採する植栽の確認
工事中（H27）		
公園完成後（H28～）	・防災訓練などで利用 ・地元のイベントに活用 ・利用者のマナー向上	管理の内容が公開されれば参加できる ・それぞれの集合住宅に管理組合 ・商店街でも仕組みができれば協力 ・花壇等は地区別（組織別）に分割して管理 ・幼稚園でも花壇で学習出来る



D グループ

	利用・運営	管理
工事開始まで（H26）	―	―
工事中（H27）	・シンボルツリーの記念植樹 ・伐採した木を利用したベンチづくり	・工事期間中も一部使えるように
公園完成後（H28～）	プレーパーク ・自治会組織に頼らず外部団体等と連携したプレーパークの実施 ・子供や学生、NPOが関わるイベントに ・地域の負担にならないように ・バザーや運動会、夏祭り等と同時開催	（グラウンド） ・管理を自主性に任せるのは難しい ・利用団体に管理を一部お願いする （市民花壇） ・主体となるボランティア団体を見つける

＜結　果＞

各グループから様々な意見が得られました。その中で、公園づくりに今後も関わっていきたい、工事開始までにもう少し色々な人の意見を聞きたい、といった意見が多く見られたことから、新たに話し合いの場が設けられることとなりました。

ワークショップの感想

今後どのように具体化されるか見守りたい。／　理想と現実の間で、なかなか難しい問題が山積していたように思いました。／　公園の基本的なコンセプトづくりの部分にもっと厚みを持たせてほしかった。／　とても良い計画案ができたと思います。／　今後、今まで立てたプランと協議がどう活かされるかが楽しみです。／　参加している多くの人が現金ヶ作公園に満足していることに気付きました。／　これだけ長い期間話し合ったので、ぜひ意見を無駄にせず形にしていただきたいです。／　時間が短く感じられる有意義なひと時でした。今後とも地元の住民として市民としても注目していきたいと思います。／　これで終わりでなく、今後運営について継続的に関わっていこうと思います。

ワークショップは今回で終了となります。
しかし、今回のワークショップの中で引き続き今後の公園づくりへの地域の関わりについて、話し合いを続けていきたいとのご意見が多くありましたので、新たに話し合いの場を設けることになりました。
以下の日程で座談会を行いますので、興味のおありになる方はご自由にご参加下さい。

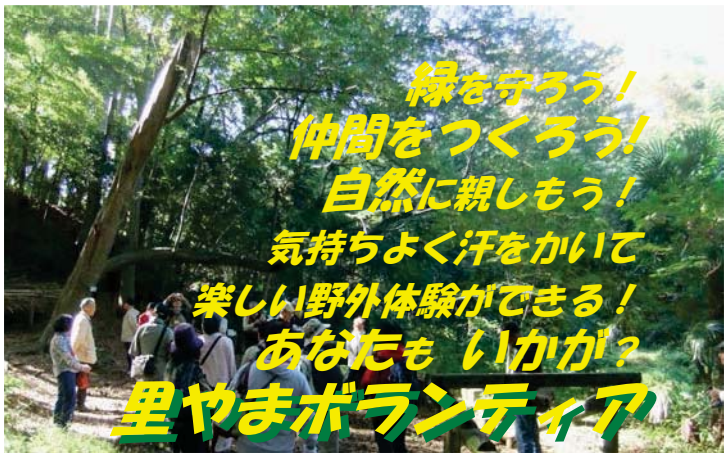
１月３１日（金）　１４：００ ～　　常盤平市民センター

＜お問い合わせ先＞
松戸市役所　街づくり部　公園緑地課
担　当：霜田、北口、川辺
ＴＥＬ：３６６－７３８０　　メール：mckouen@city.matsudo.chiba.jp

資料９

～身近な緑を知る・守る5つの体験～

里やまボランティア入門講座



	日　　時	内　　容	講　師　・　協　力	会　　場
①	10 月 31 日（木） (9:45～15:00)	里やまって何だろう？ ～皆で考えよう！松戸の里やま～	森林インストラクター 渋谷　孝子　氏	まつど市民活動 サポートセンター
②	11 月　7 日（木） (10:00～15:00)	都市の緑の役割 ～松戸の樹林地は今～	千葉大学大学院園芸学研究科 准教授　柳井　重人　氏	21 世紀の森と広場 パークセンター
③	11 月 14 日（木） (10:00～15:00)	都市樹林が抱える課題 グループワーク	関さんの森を育む会	関さんの森 東漸寺談話室
④	11 月 21 日（木） (10:00～15:00)	森の手入れ体験とお楽しみ	七喜の会	紙敷　石みやの会
⑤	11 月 28 日（木） (10:00～15:00)	まとめと交流 グループワーク	松戸ふるさと森の会 松戸里やま応援団	21 世紀の森と広場 パークセンター

定　　員：20 名（連続 5 回受講される方、ならびに市内在住・在勤・在学者を優先します）

費　　用：3,000 円（保険料、教材費を含む）

共　　催：松戸市みどりと花の課、松戸里やま応援団、松戸まちづくり交流室 テント小屋

申し込み：10 月 1 日（火）以降の受付、往復ハガキに住所・氏名（ふりがな）・年齢・電話（Fax）を記入し、〒271-8588　松戸市役所　みどりと花の課（℡　366-7378）まで

＊　応募者多数の場合は抽選となります。受講の決定は返信ハガキでお知らせします。

松戸花壇づくりネットワーク

資料１０

種からの花苗づくり（平成23年度～）

視察研修会（茨城県神栖市）

緑と花のフェスティバル

花壇見学会

70周年記念庁舎前花壇活動

資料 11

「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」ワーキンググループからの報告と提案

1.「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」とは

市としての課題である「21 世紀の森と広場の魅力を高めるための公園機能の見直し」に対する新たな取組みの一環として、21 世紀の森と広場内の様々な場所をそのままシアターと見立て、音楽会等のパフォーマンスとともに公園の魅力を伝えるイベントを、「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」と題して実施し、新たな魅力による利用者の増加を期待するものです。

2. ワーキンググループの成り立ち

第６期松戸市緑推進委員会からの「21 世紀の森と広場の魅力アップのための答申」について、第７期松戸市緑推進委員会でも、答申がどのように具現化されていくのかを、引き続き見守り、関わっていこうとの判断から、本委員会内の「21 世紀の森と広場部会」に関連した形で、「21 世紀の森と広場 ドコでもシアター」ワーキンググループが立ち上がったものです。

3. ワーキンググループの構成（所属は WG 立上げ時のもの）

- 第７期松戸市緑推進委員　・・・　柳井 重人、高橋 盛男
- ドコでもシアター主催者　・・・　萩野 正和、細田 渉（studio-MoC ＝ ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱによるﾄﾞｺｼｱ運営）
- ワーキンググループの推薦者　・・・　田中 聖美、曽根 大樹（千葉大学）
- 行政職員　・・・　公園緑地課）島村 宏之、小高 高、三末 容央
  みどりと花の課）布施 優

4. ワーキングの目的

- 「studio-MoC」と「松戸市」が共催で実施している「21 世紀の森と広場 ドコでもシアター」への提案、助言等。
- 「21 世紀の森と広場 ドコでもシアター」をケーススタディとした、新たな事業展開へのフィードバック。

5.「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」の現状

（1）実施形態（協働(市との共催)による業務分担）

《studio-MoC》　・・・　地域でまちづくり活動を展開するメンバーで構成された団体

- 企画･立案･交渉･宣伝
- ポスター、チラシのデザイン
- 音楽会当日の運営･進行に関わる労務（学生ボランティアも参加）
- 音楽会実施費用または物品の一部負担（市が負担するもの以外にかかる費用）

《21 世紀の森と広場管理事務所》

- 企画調整（準備含む）

・音楽会当日のサポート労務
・広報まつどや市 HP への掲載、ポスターの掲示等の宣伝
・音楽会等の出演者への謝礼金の支出
・市所有物品の貸し出し

（2）実績

実施日	タイトル	内容	場所	来演者数
H24.10.28	そよ風薫るオータムコンサート	ﾋﾟｱﾉ、ﾊﾞｲｵﾘﾝ、ﾎﾞｰｶﾙ	ｶﾌｪﾃﾗｽ	2 回：140 名
H25. 5.26	いつもの場所で、音とみどりが重なる	ﾊﾞｲｵﾘﾝ、ﾋﾞｵﾗ、ﾁｪﾛ	中央入口、橋の下	2 回：600 名
H25. 8.17	音で満たす、日暮れ空と水面の間	ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ、ｻｯｸｽ、ﾁｭｰﾊﾞ、ﾋﾟｱﾉ、ﾄﾞﾗﾑ、ﾎﾞｰｶﾙ	池の辺	2 回：420 名
H25.10.12	秋夕の森に声音を刻むとき	ｵﾍﾟﾗ（ｿﾌﾟﾗﾉ、ﾃﾉｰﾙ、ﾋﾟｱﾉ、ﾌﾙｰﾄ）	橋の下	2 回：700 名
H26. 3.21	フクらむ春に、ハズむ音	ミュージカル・アンソロジー	中央口前広場	2 回：420 名

（3）外部評価

平成 24 年 10 月の試行から、これまでに５回の「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」を開催しているが、合わせて２千人を超える来演者数を数え、アンケート結果からも大変好評を得ている。また外部からも「一般財団法人 公園財団」が実施している「公園夢プラン大賞 2013･実現させた夢部門」において入選を果たし、専門的且つ客観的な評価を得ている。

こうした実績が評価され、各種メディアへ取り上げられる機会も増えており、最近では松戸市ホームページにおいて、市が推進するシティプロモーションの一環として行っている「まつどやさしい暮らしラボ（松戸市での“やさしい暮らし”のヒントを市民参加型で研究・発信していく活動体）」の中で、「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」の活動が紹介されている。

6. ワーキングの実績

	実施日	主なワーキングの議題
第 1 回	H25.2.20	自己紹介、ワーキンググループの目的、位置付け等の確認
第 2 回	H25.3.15	ドコシア(5/26)の説明及び意見聴取、ドコシア運営体制の検討
第 3 回	H25.4.12	ドコシア(5/26)の説明及び意見聴取、ドコシア運営体制の検討
第 4 回	H25.5.10	ドコシア(5/26：食のサービス試行)の説明、PR 方法の提案（菅氏出席）
第 5 回	H25.6.21	ドコシア(5/26)の報告、アンケート結果分析、ドコシア運営体制の検討
第 6 回	H25.7.19	ドコシア(8/17：食の充実)の説明、ドコシア運営体制の検討
第 7 回	H25.8.23	ドコシア(8/17)の報告、ドコシア(10/12：新たな演目)の説明
第 8 回	H25.9.20	参加型企画（市民が企画･運営を主導する）の検討（榎本氏出席）
第 9 回	H25.11.15	ドコシア(10/12)の報告、ドコシア改善点の整理
第 10 回	H26.2.20	先進事例（西川パフォーマー事業、井の頭公園アートマーケッツ、国営昭和記念公園）の勉強
第 11 回	H26.5.9	ドコシア(3/21)の報告及び緑推進委員会への報告事項整理

7. 「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」の魅力（アンケート結果とワーキングによる「良かった点」の抽出）

（1）企画･内容 ･･･「この公園だから」の趣旨と「この公園ならでは」の魅力

・ 毎回の司会による趣旨説明やパフォーマーからの公園の感想等の発言により、来場されたお客様には、質の高いパフォーマンスとともに公園の魅力がしっかりと伝わっている。

- 来場された方の年齢層も幅が広く、普段、音楽や弦楽器に触れる機会の少ない方、お子様がいてゆっくり音楽を聴いたり楽しんだり出来ない方、車椅子の方々等が来場し、気軽に聴いていただけている。
- 特定のパフォーマーやテーマのみが提供されているわけではないことが、来場者とってはドコシアの魅力（呼び水）となっており、特定の人々による盛り上がりではなく、お客様を飽きさせないことにつながっている。
- パフォーマーにとっては、当取り組みの主旨が明確であったため、楽曲の選び方や演奏のアレンジなどがとても行い易いと評価を得ている。

（2）広報 ･･･ 着実な広報インフラの整備とその効果

- ホームページやポスターなどしっかりとデザインされており、外から見られた方に対しては「きちんと感」を与えられている。
- 基本的な広報ツールがそろってきている。
- 現在、ポスター等の印刷は松戸市と studio-MoC 分をあわせて 1 回につき 1,000 部～1,500 部程度の発行であるが、その効果は大きい。
- 各種メディア等からの問合せが、回を増すごとに増えてきている。

（3）パフォーマー ･･･ 公園の魅力とドコシアの趣旨への理解の促進

- ドコシアの趣旨に共感し、反省会ではドコシアを良くするための意見や提案をしていただけるなど、ドコシアのファンとなってくれているパフォーマーが増えている。

（4）会場 ･･･ 公園ならではの、ドコシアならではの「場所」

- 舞台を中心に会場及び会場周辺に自由に座って聴ける気軽さが、公園らしさを失わずに、パフォーマンスを鑑賞しやすい。
- 舞台と客席の近さからお客様の反応を直に受け取りながらの演奏ができ、客席と一体感を得られる会場は、パフォーマーにとっても好評で、よい。
- 「橋の下」は、ホールのような響き具合がありパフォーマー及びスタッフは驚いている。会場としては、パフォーマーからも好評を得ている。
- 演奏者には、何よりも、会場となる公園をとても気に入っていただいている。

（5）自然との調和 ･･･ パフォーマーも来場者も、五感で感じるイベント

- 演奏者のみならずお客様と一緒に、景色を目で見て、音楽を耳で聴いて、風を肌で感じ、こだわりの「食」を舌で味わい、このドコでもシアターでは、心で感じ、五感を一度に養うことができる。
- 舞台に風や日光など室内では得られない演出を自然に取り入れられることがとても新鮮に受け止められている。
- 演奏者は、野外で演奏できる機会があまりなく、開放的な緑の中で風を感じながら演奏できたことはとても貴重な体験となり、気持ちよいものとなっている。（「タングルウッド音楽祭」（アメリカ）で演奏しているような気分であったと感想を頂戴した。）

（6）販売 ･･･ ドコシアの魅力に添える、松戸発の「食」

- おしゃれなかき氷など、趣向を凝らした「食」の特別販売やカフェテラスによる販売は、お客様にも好評で、毎回多数のお客様にもご利用いただいている。
- 特別販売の出店協力者からは、ドコシアを契機とした新たなお客様の来店があるとの報告があり、波及効果が生じている。

- スタッフ側でテントやテーブルを用意しているため、出店のし易さも増し、会場設営等の事前準備やタイムスケジュールのハンドリングはスタッフ側で行えている。

（7）スタッフ ･･･ ドコシア実施ノウハウの着実な研鑽と蓄積

- 回を重ねるごとに、会場設営等の当日作業についての作業イメージがスタッフ間で共有でき、迅速かつ柔軟な対応ができるようになってきた。
- 当日の学生等の支援スタッフが増えてきており、スタッフも幅広い年代や所属の者が集まり、当日は協力しながら一つの作業に取り組むことで、お互いに何かしらの刺激となっている環境ができている。
- スタッフとパフォーマーとの意見交換等も実施し、ドコシアの改善に向けて、スタッフ自身がとても積極的に取り組んでいる。
- 市がこの取組みに対して前向きな姿勢であることが新鮮で良かったという、パフォーマーからの評価をもらっている。

（8）その他 ･･･ 温かく、やさしく、もてなす

- 地域に根差しており、取組みが継続されていることについて、お客様やパフォーマーからも喜んでいただいている。

8. 「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」の向上のための改善点（アンケート結果とワーキングによる「課題･改善点」の抽出）

（1）企画･内容 ･･･ コンセプトの徹底的な維持と実行

- 演奏者の学歴や職歴に関する一定程度の水準を設けていた方がよいかもしれない。
- 楽器や編成に対応して会場を変えるような、ドコでも演奏が可能になることが望ましく、そのための電源の増設等の対応をしていきたい。

（2）広報 ･･･ 松戸市内には徹底的に知らしめる、積極的な広報活動の展開

- 「ポスターを街中で見かけない」「当日、公園に来るまでに広報等を見かけない。」といった声がある。今後は、チラシやポスターの設置箇所を増やした方がよい。また、Web や SNS 等でも積極的に配信し、CM づくりなど、新たな広報を展開していきたい。
- イベントのイメージ戦略上も、ポスター制作や宣伝のための費用はかける必要がある。

（3）パフォーマー ･･･ お客様を魅了するパフォーマンスの確保のための費用

- 演奏者等のパフォーマーは本番に出演するだけではなく、当日にお客様へ最高のパフォーマンスを提供するために合同練習やリハーサルを行っており、その際には楽譜代や練習会場使用料などの必要経費が発生するため、現在の出演謝礼金の増額を検討する必要がある。

〈参考〉：音楽コンサートに出演する場合、その出演に向けてのリハーサルは最低でも２～３回（約２時間／回）程行うと聞いている。

- 現在は、主催者の熱意やドコシアの走り出しという取り組み段階を鑑みた出演受諾である部分もあり、出演交渉に苦戦することもある。相応の出演謝礼金がなければ相応のパフォーマンスは提供されず、皆様から好評いただいているような質を継続して確保することは難しくなる。

（4）会場 ･･･ 気持ちよくパフォーマンスするための会場的配慮

- 気軽かつ自由に座って聴けるため、客席の範囲が広くなる。パフォーマーとして、どこに対して、どこまでにアンテナを張ってパフォーマンスを行ったらよいかわからないため、客席の範囲とそのセンターの位置の確認が必要である。

（5）自然との調和 ･･･ ドコシアだからこその自然への配慮

- 日射しや砂埃、風に対して対応は難しいが、季節や楽器の種類を踏まえ、会場選びや開演前の水まき等のソフト・ハードの両面からの可能な対策を講じる必要がある。
- 木製の楽器（弦楽器や木管楽器など）やドラムセットなど、直射日光をできるだけ避けたい楽器もある。野外演奏用の楽器があるとよいが、パフォーマー側で対策するようなことでもある。（費用との兼ね合い）

（6）販売 ･･･ ドコシアや公園に人々を呼び込む、魅力的なにぎやかし

- ドコシアや当公園への呼び込み、宣伝、啓蒙及び当日の賑やかしのためにも、出店者をもっと増やしたほうがよい。
- 当日に来訪してみたくなるような魅力的な店をもっと増やしたほうがよい。

（7）スタッフ ･･･ アツい「おもてなし心」の見える化

- パフォーマーや司会者は、もてなす立場として、相応の衣装で客席の前に立っている。スタッフも同じ立場である以上、作業着やカジュアルな格好ではなく、スタッフ間で服装を揃えたり、同じ物を着用したほうがよい。

（8）その他 ･･･ 公園またはドコシアの魅力的なアピール

- イベントの認知度を上げるためにも、年間の開催回数を増やすことを検討できればよい。（スタッフ等の体制の検討が必要。）
- 単なるイベントではなく、ランチやお茶会と組み合わせたコンサートなど、公園の魅力をたっぷりと味わえるような魅力的な企画を行ってもよい。
- ケアセンターの方々が来場されたように、ドコシア側から、ドコシアを楽しむような企画を提案してもよい。
- ドコシアならではのグッズの製作や販売、スタンプカード等の実施、オープニングなどに使うテーマ曲の作成など、ドコシアの魅力を増進する企画を始めてもよい。

（9）行政側の課題

- 管理事務所では、本事業に対しこれまで初動のための重点業務として対応してきたが、本事業に限らず、今後も様々な公園サービスを提供していきたいと考えており、将来的に現状の役割分担が維持できるかはわからない。

9. ワーキングによる「新たな事業展開」に向けての提案

（1）先進事例に見る「仕組み」の特徴

① 西川パフォーマー事業

- 使用場所の公園（緑道）は市の直営管理となっている。
- パフォーマー選定のために公開審査会を実施している。
- 審査会のメンバーは主に地域の関係者で構成されており、行政の担当課は入っていない。
- 選定されたパフォーマーにより公園活用事業協議会が結成されている。
- パフォーマーの認定期間は２年となっている。

② 井の頭恩賜公園アートマーケッツ

- 使用場所の公園（歴史公園）は都の直営管理となっている。
- 行政と地域関係者、マスコミ等で実行委員会を組織している。
- 実行委員会が行政に占用許可申請を行っている。
- 出展者は実行委員会が認定し、実行委員会に登録料を納めている。

・出展品は手づくり品に制限している。（価格の明示と上限を設定）

③ 国営昭和記念公園みどりの文化ゾーン

・使用場所の公園（国営公園）の管理は指定管理者が行っている。

・指定管理者が行政に必要に応じた事務手続きを行っている。

・指定管理者が利用希望者（パフォーマー等）との調整（相談･応募等）を行っている。

・行政が共催であっても、ものを売る場合は施設利用料が生じる。

（2）「新たな事業展開」に向けての提案

① 「21 世紀の森と広場ドコでもシアター」の発展に向けて

持続的な実施を担保できるシステムづくりを目指すことが必要であり、そのためには以下の事項が重要課題となる。

・質へのこだわりなど、コンセプトを維持するための運用ルールを明確にすること。

・スポンサー（企業の支援）の獲得や、サポーター（支援者）の組織化を図ること。

・現在の「協働」による実施体制の限界を認識し、発展的な「アウトソーシング」を検討すること。

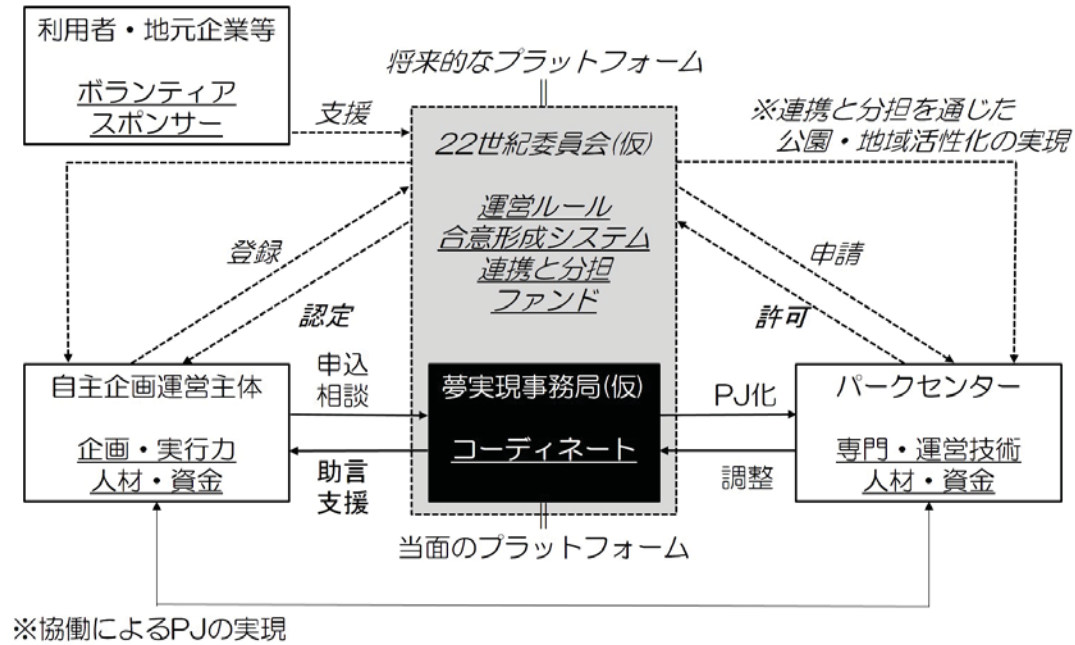
② プラットフォームの構築

当面のプラットフォームとして、自主企画・運営を希望する主体が持ち込むプランを、公園管理者が求める一定のルール等にしたがってコーディネートし、具体的な事業として構築することのできる機能・組織（事務局）が求められる。

また、将来的には、21 世紀の森と広場の運営に係わるルールづくり、合意形成の促進、関係主体の役割分担と連携、資金調達とファンドの造成等を担う機能・組織（公園運営協議会）が求められる。

このようなプラットフォームとしての機能・組織の構築に関しては、アウトソーシングも含めて検討する必要がある。なお、下図にプラットフォームの役割、行政や自主企画・運営主体等との関係や求められる役割について例示した。

《図：プラットホームの構築に係わる提案》



③ 自主企画・運営団体の育成と展開

図に示したようなプラットフォーム（事務局＋公園運営協議会）を構築することにより、「ドコでもシアター」のような自主企画・運営による公園イベントの掘り起こしと実施が可能になる。それらは、公園利用の活性化のみならず、地域づくりへと展開していくことが期待される。

（3）検討の継続

ここで提案したような新たな展開を促進するためには、継続した検討が必要である。よって現在の「21 世紀ドコでもシアター」ワーキンググループを発展的に改組し、プラットフォーム構築を主テーマに検討するグループを、緑推進委員会との連携に基づいて設置（部会・WG 等）することを求めることで、ワーキンググループの活動報告の終わりとする。

平成 26 年 5 月作成

参考資料（平成 25 年度ポスターデザイン by studio-MoC：21 世紀の森と広場ドコでもシアター）

参考資料（メディア等での取扱い①：21 世紀の森と広場ドコでもシアター）

千葉日報 2013.05.27

市川・千葉商大
原科幸彦教授

アジア初の快挙

開放的な芝生の斜面を客席にして開かれた演奏会
＝26日、松戸市の「21世紀の森と広場」中央口前

自然の中に澄んだ音色

松戸の21世紀の森と広場
開園20周年で演奏会

読売新聞 2014.03.14

◆21世紀の森と広場ドコでもシアター　フクらむ春に、ハズむ音　21日午前11時半と午後2時15分、松戸市・21世紀の森と広場中央口前広場（雨天時は広場の橋の下）。「ＲｅＭＩＸ」がミュージカル曲を演奏する。無料。管理事務所047・345・8900。

◆春の風にのせて～歌とフルートのコンサート～　22日午後4時、我孫子市・我孫子

千葉日報 2013.08.20

水辺でしっとり音色響く

涼を呼ぶ夕涼み演奏会（松戸）

「21世紀の森と広場」で開かれた野外演奏会
＝17日、松戸市千駄堀

「戦争は

流山

広島派

行政情報誌と

千葉日報 2013.10.14

千葉日報　（日刊）　2013年（平成25年）10月14日（月曜日）

松戸

名所彩る優雅な調べ

戸定邸の表座敷棟で開かれた弦楽四重奏による演奏会

戸定邸で弦楽四重奏・21世紀の森でオペラ

21世紀の森と広場の橋の下で披露されたオペラの演奏

参考資料（メディア等での取扱い②：21 世紀の森と広場ドコでもシアター）

月間コロンブス

2013

千葉県松戸市の自然尊重型公園で
森と広場を生かしたイベントを開催

☎047-345-8900
http://docosia.com/

開放的な空間で音楽を満喫

8月17日、千葉県松戸市の自然公園「21世紀の森と広場」で「21世紀の森と広場 ドコでもシアター」が開催された。これは自然公園の空間をそのままでシアターに見立て、音楽演奏などのパフォーマンスを行うというイベント。「東京ドーム11個分もある大規模公園を生かして、地域をより元気にしようという取り組みです。自然のなかでのパフォーマンスは開放感があって最高です」と主催者であるstudio-MoCの萩野正和氏は話す。

このイベントは2012年度にはじまったもので、今年度はあと2回開催される予定。今回は当日の会場で地元店舗による特製スイーツや飲み物なども販売された。次回は10月12日に開催予定で、今回同様、会場内での飲食物の販売が予定されているので、自然と音楽と食を存分に楽しむことができそうだ。

㊐21世紀の森と広場管理事務所

日本各地から152蔵の
「武蔵の國の酒祭り201

9月15日の午前11時から
かけて、東京都府中市の大
道わき広場で「武蔵の國の
（主催：東京都酒造組合）
る。全国152蔵の銘酒が集ま
だ。わずか1000円（前売り
国の地酒を味わうことがで

会場となる大国魂神社は
護神が祭られていることで
まさに"酒の聖地"で開催さ
祭典、日本各地の地酒を味
とないチャンスなので、地
はぜひとも参加していただ
お、このイベントは東方通
『コロンブス』も後援してい

㊐東京都酒造組合 ☎042-
http://www.tokyosake.or.jp

イベントのチラシ

にかほ市と大洗
地銀2行が地域振興協

秋田県にかほ市（横山忠
茨城県大洗町（小谷隆亮町長

●ドコでもシアター

㊤人気スポットの橋の下は日陰にもなっていて快適。音もよく響いてシアターそのもの

園内が突如ライブ会場に

千駄堀池脇の広場や橋げたの下など、公園内のとある場所が突如ライブやイベント会場に早変わり。オペラ演奏やアコースティックライブなど多彩な催しが行われている。

㊐園内各所 ☑イベントにより異なる
㊡不定 Ⓟ847台（￥500/1回）
交㊐八柱駅、Ⓙ新八柱駅より徒歩15分

㊐㊐市の助成金制度を使って商店街も応援！
㊐内装はとても豪華

㊐予約時のみ
駅より徒歩6分

松戸市ウォーカー 2014

千駄堀の豊かな自然を満喫

21世紀の森と広場

別冊ちいき新聞 縁じょい 2014

バードウオッチングやバーベキューも

新緑の季節を迎え、21世紀の森と広場はのんびりとお弁当を広げたり、ウオーキングをしたり、大勢の人でにぎわっている。園内には一年を通して四季折々の花が咲き、散策も楽しそうだ。

既存の樹木をそのまま生かした森の中には散策道や木道があって、夏でもひんやり。森林浴には最高の場所だ。公園西側にある自然観察舎ではバードウオッチングも楽しめる。

地元リピーターに人気のバーベキュー場は公園北側。「おまかせコース」の食材を事前に予約すれば、手ぶらでバーベキューができる（5人前から予約可能）。

園内ではイベントも続々予定

4月29日（火・祝）

には公園南側のつどいの広場を会場に、「緑と花のフェスティバル2014」が開催される。自然に親しみ、緑の恩恵に感謝して豊かな心を育むことを目的としており、毎年多くの市民が訪れる。

グリーンラリーや草花、植木、野菜の販売のほか、巣箱作り、野点など自然に親しむ催しをはじめ、輪投げなどのゲーム、各種展示と盛りだくさん。また、ステージでは和太鼓やダンスなども披露される。

最近好評なのが、公園の魅力をパフォーマンスとともに味わえるイベント「ドコでもシアター」。広場内のさまざまな場所をそのままシアターに見立て、演奏会などを開催。地域でまちづくり活動を展開する「studio-MoC」と松戸市との共催。5月31日（土）に開催予定（詳細は左記ホームページを参照）。

（あやめ）

5月に園内で見られるエゴノキの花

森林浴に最適な森の回路

緑と花のフェスティバル2014
4/29（火・祝）9:30～15:00
雨天決行・入園無料
【交通】
JR武蔵野線・新八柱駅、新京成線・八柱駅から徒歩15分
【問い合わせ】
TEL047-345-9846
（公益財団法人松戸みどりと花の基金）

21世紀の森と広場
住所／松戸市千駄堀260
休園（館）日／12月30日～1月1日
●バーベキューの予約 TEL／047-385-1815
●ドコでもシアターホームページ http://docosia.com/
●問い合わせ TEL／047-345-8900（パークセンター）

参考資料（メディア等での取扱い③：21 世紀の森と広場ドコでもシアター）

賞　状

入選
２１世紀の森と広場
ドコでもシアター

studio - MoC　萩野　正和 殿

あなたは「公園・夢プラン大賞 2013
実現させた夢部門」において素晴らしい
プランを応募され審査の結果頭書の成
績をおさめられましたのでこれを賞します

平成 26 年 3 月 25 日

一般財団法人 公園財団
理事長　蓑茂 壽太郎

公園財団　公園夢プラン大賞 2013　入選

広報まつど　市民活動特集

まつど魅力再発見

特集に関するお問い合わせ＝広報広聴課☎366－7320

育もう！ ひろげよう！
座談会
まつどの文化・芸術活動

文化・芸術と聞いて「難しそう」「敷居が高そう」と感じたことはありませんか？

市では平成25年度内に「松戸市文化芸術振興基本方針」の策定と、文化によるまちづくりの推進に向けて作業を進めています。

そこで、松戸の文化・芸術が身近なものであることを知ってもらうため、松戸市文化芸術振興基本協会委員の美村高明氏を中心に、松戸の文化・芸術にさまざまな関わり方をしている人たちを迎えて座談会を開催しました。

また、特集の4ページ目では松戸に芽吹く文化・芸術として「暮らしの芸術都市」と「ポップカルチャー」を紹介しています。

皆さんも身近なところから文化・芸術活動を始めてみませんか。

石上瑠美子氏　萩野正和氏　小林恵美氏　水村和香氏　奥村高明氏

松戸で文化・芸術の活動をする

座談会参加者（五十音順・敬称略）

■石上瑠美子（いしがみ・るみこ）
NPO松戸市民劇団理事長として演劇に関わるほか、まつど観光大使・松戸市観光協会理事・松戸シティガイド相談役・松戸探検隊ひみつ堂の運営など松戸の観光面でも活動

■奥村高明（おくむら・たかあき）
聖徳大学准教授教育学部・児童学部児童学科教授。松戸市文化芸術振興基本方針の策定に関わる

■小林恵美（こばやし・えみ）
松戸市文化団体連絡協議会。松戸市語り方友の会や市立図書館おはなしボランティアなどで活動。常盤平文化複合会会長も務める

■萩野正和（はぎの・まさかず）
studio-MoC代表として、地域づくりの活動を手掛ける。21世紀の森と広場で「ドコでもシアター」を市と共催。まつど観光大使も務める

■水村和香（みずむら・よりか）
女性ダンスグループ・みんみん♪代表。平成19年に開催された友切公園鹿のジャズダンスに参加したことをきっかけに自主全国グループを結成し、現在的に活動している

活動を通して感じた松戸の良さ

文化・芸術が身近にあるまちにするには

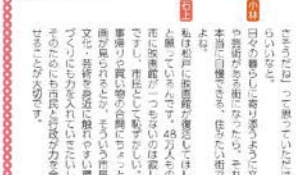
文化・芸術の豊かな目指してできること

公共施設空間の活用
21世紀の森と広場
ドコでもシアター

ドコでもシアターは21世紀の森と広場内のさまざまな場所をそのままシアターに見立て、演奏会などのパフォーマンスとともに公園の魅力を提供するイベントです。市とこのイベントを共催するstudio-MoCは、地域でまちづくり活動を展開するメンバーで構成されています。

昨年10月に行われたドコでもシアターでは、21世紀の森と広場の「広場の橋」下を会場に反響の良さを利用して、オペラ作品の有名なアリアが演奏され、多くの参加者が聞き入っていました。

次回イベント フクらむ春に、ハズむ音
3月21日㈷11時30分～12時30分、14時15分～15時15分　会場21世紀の森と広場「中央口」前広場（雨天の場合は「広場の橋」下）内容ミュージカル・アンソロジー
演奏keMIX　費用無料　詳http://docosia.com/
問パークセンター☎345－8900



おはなし
ボランティア活動

取材した日は図書館とおはなしボランティアが協力して行う「絵本はじめのいっぽ」でした。絵本の読み聞かせの前に、

広報まつど 2014.3 月 1 日号（市民活動特集）

参考資料（メディア等での取扱い④：21 世紀の森と広場ドコでもシアター）

松戸市ホームページ、「まつどやさしい暮らしラボ」より
ホーム＞ ほっとできる＞『21 世紀の森と広場 ドコでもシアター』“フクらむ春に、ハズむ音” 2014 年 4 月 17 日

『21 世紀の森と広場 ドコでもシアター』 “フクらむ春に、ハズむ音”

春らしさが日に日に増す 2014 年 3 月 21 日（金・祝）、21 世紀の森と広場では『ドコでもシアター』が開催されました。緑に囲まれた会場の中で、ミュージシャンとダンサーによるミュージカル仕立てのやさしい音楽イベント。さて、どのようなプログラムが披露されたのでしょうか。笑顔あふれた当日の様子をレポートします。

好天に恵まれ、春の『ドコでもシアター』開催！

21 世紀の森と広場の中央口前広場にて、“フクらむ春に、ハズむ音”と題して、今年度通算 4 回目となる『ドコでもシアター』が開催されました。

前日の大雨が嘘のように晴れ渡ったこの日、会場では出演者や運営スタッフが朝早くから設営をしたりリハーサルをしたりと、準備に余念がありません。

これまでもクラシック音楽やオペラなど、多彩なプログラムが楽しまれてきた『ドコでもシアター』ですが、今回のプログラムは、ボーカルとダンスによるミュージカル演奏で、会場参加型のコンサートとのこと。出演者は、プロミュージシャンやプロダンサーによる音楽ユニット「ReMIX（リミックス）」のメンバー8 名です。彼らは、音楽やダンスを通じて子どもたちの夢を育みたい、という素敵な目標を掲げて、各地の公演に飛び回っているそうですよ。

ステージと観客席が一体に

開演前になると、芝生を敷き詰めた観客席に参加者が集まりはじめ、お弁当を食べたり談笑したり。なんとなくユル～い雰囲気のある気軽さも『ドコでもシアター』の魅力の一つ。そしてこの日は、＜やさしい「食」の特別販売＞と題し、21 世紀の森と広場内のカフェテラスと、松戸市六実にあるシフォンケーキ＆カフェ「Pomme Soeur（ポムスール）」さんの協力で、軽食やスープ、スイーツ、ドリンクの販売もありました。

いよいよ『ドコでもシアター』の開演!オープニング曲は、ジャズのスタンダード・ナンバー。軽快なリズムと歌、そしてダンスに会場の誰もがあっという間に引き込まれ、あちらこちらから自然に手拍子が起きました。ボーカリストの吉田純也さんによるメンバー紹介のあとは、ファンならずとも一度は耳にしたことのある名曲が次々と披露されます。

そのどれも、まるで舞台の一場面を切り取ったような振付が加えられ、客席の皆さんはユーモラスなセリフや動きに笑ったり、知っている曲を口ずさんだり、盛り上がっている様子。
パワフルなパフォーマンスに、聴衆の目と耳は釘付けでした。

楽しい時間はあっという間……。小さなお子さんからご年配の方まで、まさに会場が一体になった夢のようなステージは、歓喜の余韻を残して幕を閉じました。

参加者からは喜びの声が続々

ステージ終了後に、参加者の感想を聞いてみました。
「Pomme Soeur（ポムスール）」の店内のポスターで今日の『ドコでもシアター』を知りました。前回のクラシックコンサートにも参加しましたが、また違った雰囲気で、今日も良かったです。松戸市には 30 年あまり住んでいますが、便利だし 21 世紀の森と広場をはじめ緑も豊かで暮らしやすいですよ。（松戸市　女性）
21 世紀の森と広場は家族でよく遊びに来ます。広くてきれいで安全なので、お気に入りです。こんなにのびのび過ごせる場所が松戸にあるのは、ちょっと自慢。ワクワクの時間をありがとうございました。（松戸市　女性）
いとこに誘われて参加です。『ドコでもシアター』は 21 世紀の森と広場の園内施設をいかした良いイベントだと思いました。いとこは、適度に都心に近く自然豊かな松戸の住みやすさが気に入っているそうです。（匝瑳市　女性）

成熟した自然が溢れる 21 世紀の森と広場をもっと活用したい
～『ドコでもシアター』に賭ける思い～（studio-MoC 代表&地域づくりプランナー・萩野正和さん）

『ドコでもシアター』を提案し、松戸市ともに主催を務める studio-MoC 代表の萩野正和さんに、『ドコでもシアター』に賭ける想いを聴いてみました。

21 世紀の森と広場は、市街地の中心に位置しながらも、東京ドーム 11 個分の広さを持ちます。緑に囲まれた園内は、芝生の広場や水辺の風景、懐かしい里山などを整備し、散策したり家族で一日遊んだりと、思い思いに過ごせるのが魅力。平成 5 年の開園から約 20 年間、地域の方々に愛されてきた公園を、次のステップとして活用したいと考えたのが、『ドコでもシアター』誕生のきっかけです。
これまで季節ごとに1回のスパンで、四季折々の園内の魅力的な風景とともに楽しめるコンサートを開催し、ご好評をいただいています。「シアター」の名前どおり、今後は音楽演奏に限らずさまざまなパフォーマンスを提供するイベントなどを企画していくつもりです。
私たちが目指すものは、自然風景と芸術の融合、そして公園の新しい使い方の提案。市民に愛される公園だからこそ、もっと使い方を工夫して、さらに身近にある良いものにしていきたいのです。
これからも『ドコでもシアター』は、皆さんに喜んでもらえるようなイベントをたくさん企画していきたいと思います。開催情報は『ドコでもシアター』の専用サイト（http://docosia.com/）や Facebook ページをはじめ、「広報まつど」、松戸市内の店舗等に掲示されるポスターなどで随時お知らせしますので、ぜひ一度『ドコでもシアター』へ足を運んでみてください。

「ドコでもシアター」についての詳しい情報は、21 世紀の森と広場「ドコでもシアター」をご覧ください。